

年 報

第8・9号

平成25年7月

国立大学法人香川大学総合情報センター

目 次

巻頭言	本田道夫	1
特別寄稿		
総合情報センターの在り方	柴田昭二	5
解説		
香川大学 Moodle の利用状況と負荷分散システム	中村邦彦	7
寄稿		
医科大から医学部へ	河内一芳	13
平成22年度 情報セキュリティ監査の実施	武田亮, 横山美保	15
活動報告		
情報基盤システムのこの一年	今井慈郎, 曾根計俊	19
事務システム	近藤まゆみ	22
医学部情報ネットワーク管理室報告	河内一芳, 多田志乃舞, 川田延枝	24
農学部情報基盤室報告	土居敬典	26
ウィルス対策	今井慈郎, 川田延枝, 多田志乃舞, 渡部周平	28
平成22年度 スпамメール対策この一年	スパムメール対策機器管理部会	30
センタースタッフによる教育活動(平成22年度)	林敏浩	32
センタースタッフによる研究活動	林敏浩	33
教育研究活動(平成22年3月～平成23年2月)	今井慈郎	36
業務報告		
平成22年度パソコン室利用統計		41
平成22年度総合情報センターPC利用実績		45
平成23年度パソコン室利用統計		50
平成23年度総合情報センターPC利用実績		54
平成22年度・平成23年度開催の会議および行事		59
センター関係会議委員・スタッフ一覧		65
資料		
香川大学総合情報センター規程		67
香川大学総合情報センター会議規程		69
香川大学総合情報センター利用規程		71
香川大学キャンパス情報ネットワーク運営規則		75
香川大学キャンパス情報ネットワーク運営細則		77

香川大学総合情報センター専門委員会規程	80
編集後記	81

巻頭言

総合情報センター長に就任して

本田 道夫

平成23年10月から総合情報センターのセンター長に就任しました本田です。名称が情報処理センターだった頃まではセンターに関係していましたが、この度、十数年ぶりに再度関わらせていただくことになりました。名称も、情報処理センター、総合情報基盤センター、総合情報センターと変わってきたようですが、それに伴い、業務や組織も大きく変わっており、就任当初はとまどうこともありました。半年たって、やっと全体のことが見えるようになってきました。一方、就任して半年後に、総合情報センターに長年関わってこられた経済学部の中村先生や教育学部の高井先生が退職されることになり、総合情報センターとしてもご相談できる方がおられなくなることを残念に思っております。

このように、これまで、総合情報センターに関わってこられた先生方が退職され、総合情報センターの歴史的なことを知っておられる方も少なくなったこともあり、ここで、私が知っている以前のことをご紹介させていただきたいと思います。もっとも、センター技術職員の瀬野さん、曾根さんはずっと関わってこられて、私よりも多くのことをご存じだとは思いますが。

私が最初に関わったのは、本学に採用された少し後で、文部省（当時）の分類でデータセンター（学内では計算センターと呼んでいた）という名称の組織のころからでした。コンピュータも、パンチカードでバッチ式に利用する富士通の FACOM 230/45 でした。次に、三菱電機の MELCOM という TSS 的にも利用できるコンピュータ、および TSS 端末が複数導入され、学内で接続（現在の LAN ではなく直接接続して）した研究室からはパソコンを TSS 端末として利用できるようになりました。さらに、文部省の分類で情報処理センターという組織に格上げになり、コンピュータも日本電気のホストコンピュータ ACOS と、数十台のパソコンという構成になってきました。このときに、学内に LAN として、ネットワークを張り巡らしましたが、そのスピードは学内の基幹ループのところで 80 Mbps 程度のものだったと思います。

その頃、情報センター関連の全国会議に出席すると「IP 接続」（今でいうインターネット）という言葉が飛び交っており、香川大学も IP 接続ができるようにしなければ、先生方の研究に支障がでるという危機感を思っておりました。そのころは、WIDE プロジェクトというものがあり、香川大学としてもそれに加入するかどうか考えていましたが、なかなか香川県から接続するには難しいこともありました。そのように、IP 接続がなかなか進まない

状況のなか、まずは、Junet での電子メールが使える環境を整えることとしました。今では考えられないかも知れませんが、香川大学のメールサーバが2時間に1度、岡山大学のある先生の研究室のサーバに電話をかけ、香川大学からの学外宛てのメールを送信し、逆に岡山大学のサーバに届いていた香川大学宛てのメールを受け取るという方式でした。岡山大学から先の大阪大学、その先の東京大学なども同様な一定時間間隔でのダイヤルアップ電話接続のメールのやり取りでした。そのため、メールをアメリカの大学に出して、その返事を受け取るまでに8時間位かかりましたが、それでも郵便と比べると大幅な時間短縮となったと、学内の先生方からいわれたこともありました。

そのうち、学術情報センター（当時、現在は国立情報学研究所）の SINET ノードが神戸大学に伸びてきたので、そこにセンター予算月額20万円程度の回線料を支払って接続することができるようになりました。ただし、当時のスピードは64 kbps で、大きなファイルのダウンロードなどは通常の勤務時間には自粛してもらいたいという利用でした。その1年後に、SINET ノードも岡山大学まで伸び、接続料も文部省からいただけるようになり、またスピードも1 Mbps 程度だったと思いますが、多少速くなりました。メールも SINET のメールに代わったと思います。このころ、香川県が購入したルータをセンター内に置いてもらって、香川県内の他の大学への接続も提供し、また教育学部があることから、インターネットを用いた学校教育についての研究ということで、県立高校の接続も提供していました。（現在は、県内の小中高は香川大学経由でない別系統のネットワークで接続していると思います。）

当初はネットワークのトラブルもありましたが、利用者の多くはコンピュータシステムやネットワークの運用の難しさをご存じの方も多く、トラブルが起こったときに問い合わせの電話に対して、現状の説明と対応中であることをお伝えすると、詰問されることもなく、「ご苦労さまです。よろしく願います」というようにいっていただけるような、非常に牧歌的な時代だったと記憶しています。

私に関わらなくなったあとに、SINET ノードも香川大学まで伸び、スピードも徐々にアップし、現在ではギガ単位になっているようです。また、今では、ネットワーク基盤は学内で非常に重要なものとなっており、ネットワークが停止すると場合によっては学内のさまざまな業務も止まるなど、その影響も非常に大きく、総合情報センターとしては、安定したネットワークの運用も一つの至上命令といってもいい状態だと思います。

私に関わっていた頃は、センター運営に協力していただいていた先生は、学部によっては正式な委員としてではなく、有志的な立場でセンターの運営に参加されている先生もおられるという状態でした。現在では、図書館・情報機構長としての阪本副学長、センター

教員としての今井先生、林先生、堀先生、工学部からの八重樫先生、技術職員としてセンターの瀬野さん、曾根さん、医学部の河内さん、工学部の川口さん、農学部の土居さん、また、事務職員として、福家さんをはじめとして、近藤さん、六車さん、横山さん、武田さん、渡部さん、村松さんなど、心強い強力スタッフが協力して、何とかセンターが運用できている状態だと感謝しています。私が就任してからでも、今年の2月に行われた新システムの導入、さらに今年の9月に予定されているネットワークシステム更新のための仕様策定などで、スタッフの方々の作業量は大変なものであったと実感しています。もっとも、システムやネットワークの更新という特別なことを別にしても、業務の多さに比べるとセンタースタッフの数は少なく、できれば、現在凍結されている助手ポストでの教員採用ができればと思っていますが、すぐには改善できないようで申し訳ありません。

このように、強力なセンタースタッフがおられるので、こう言うのは申し訳ないのですが、センター長としては、技術的な知識や技術が必要なことで直接システムに関わることはなく、会議の進行役などが主な仕事かなと思っています。しかし、その分、センタースタッフの方々が気持ちよく仕事をしていただけるように周りの環境を整えるのが重要と思っています。とはいってもあまりその面での成果は上がっているとは申せませんが、今後とも頑張りますので、よろしくをお願いします。

特別寄稿

総合情報センターの在り方

柴田 昭二

歴史を学ぶほどに、時の流れに切れ目はなくいつも「過渡期」であるということを実感させられます。通信技術や情報に関しても通用することだと思っていますが、その変化の速さには目を見張るものがあります。このセンターに関わりを持って1年あまりが経ちましたが、その間に香川大学の情報化推進の一元化を目指して組織の改編を行い、教職員や学生など利用者へのサービスを心がけて少しずつ着実に進化をしていると見るのはいささか手前味噌でしょうか。まだまだ十分とはいえませんが遠隔会議のシステムの導入とか、学生のためのオープンスペースの開設など改善されたり、改善のための具体的な計画を多数検討したりしているところでもあります。センターの教員と職員は、日々の業務を行うかたわら、センターの在り方や改善の方法など様々な香川大学の「情報センター像」を描いています。

一方外に目を向けると、国内そして世界において情報の分野は刻々と目覚ましい速度で進化を続けています。量的にも質的にも情報の拡大と変容が行われ、通信の高速化が進んでいます。研究分野や個人において程度に差のあることは当然ですが、香川大学全体の課題として教育、研究、地域貢献の役割を十分に果たせるような環境作り、情報基盤の整備が強く求められています。当センターにおいても、総合情報コンピュータシステムの更新および統合情報伝達システムの更新を目の前にして、今後数年間の本学の情報基盤が可能な限り質の高いものとなるよう努力をしていく所存であります。

ところで、平成23年3月11日に発生した東北地方の大震災と、それに伴う東日本の津波および福島原子力発電所の被害は、いまだ混沌の中にあり全貌がつかめない状態ですが、当初たびたび言われた「想定外」という言葉の軽さを認識させられる出来事でもありました。危機管理あるいは安全確保といった観点から、我が香川大学の情報部門も改めて見直しをする必要を考えていますし、具体的に有効な手立てを構築する時期にあることを強く感じています。南海地震および東南海地震が遠からぬ時期に想定されている折から、地震および津波など災害への対応は大きな、そして喫緊の課題です。

さて平成22年度は、国立大学法人にとって第2期中期目標・中期計画の初年度に当たります。香川大学総合情報センターとして実施あるいは実行してきたこと、並びに議論し計画していることなどを本年報にまとめています。当センターに対してご理解をいただき、今後ますますのご支援とご協力を賜れば幸いと存じ、ご挨拶といたします。

解 説

香川大学 Moodle の利用状況と負荷分散システム

経済学部 中村邦彦

1 はじめに

2009年4月から Moodle[1]を導入している。これは大学教育開発センターのプロジェクトとして、情報リテラシー教育推進が主たる目的であるが、Moodle 自体が広く活用できる LMS であるので、全学に公開して運用している。運用を始めて丸2年を経過し、2011年度からは負荷分散システムに移行したこと、筆者が今年度末で定年退職の予定であることから、現状と負荷分散システムについて記録を残しておく必要を感じ、投稿させてもらうことにした。

2 Moodle の現状

Moodle は2008年夏ごろからテストを開始し、秋から研究室のサーバーを利用して授業に使い始めた。使い始めてすぐにその有用さを確認できたので、まず経済学部内で利用を勧めた。同時に学内予算を申請して、正式プロジェクトとし、総合情報センターの支援も得て、2009年4月から香川大学 Moodle として運用を始めた。Moodle のバージョンは 1.9.4 だった。

◆初代サーバーのハードウェア

CPU: Intel(R) Core2 Quad Q9550 クロック 2.83GHz

主記憶: 4 GB

ハードディスク SATA 320GB 2台によるミラーリング構成

ネットワーク: 1Gbps Ethernet

OS: Debian Gnu/Linux 5.0 amd64

◆Moodle 本体への修正

すべての通信を暗号化 (設定変更のみ)

評定のエクスポートに username を出力

一斉メール送信エラーへの対応 (大学 LDAP サーバーの不具合に対応したもので、今は解消している)

潜在的なユーザー一覧に学籍番号を追加

課題の一括ダウンロード機能 (三重大学版) [2]を導入

◆日本語化の修正

都道府県を学籍番号に変更、英語表記は city のまま

◆モジュールの追加

feedback アンケート[3] 一通りのアンケート機能がある。

questionnaire アンケート[4] (アンケートと表示) 機能は多いが日本語化が不十分

QuickMail[5] 利用者へのメール送信

auto_attend[6] 自動出欠管理 自動モードと半自動モードがある。



図1 初代 Moodle サーバー

Moodle for Mobiles[7] 携帯電話対応機能 不具合を修正し、フォーラムと自動出欠の機能が動くようにしたが、あまり使われていない。

◆ネットワーク連携

他の Moodle との連携

Moodle システム相互に利用者を受け入れる機能

◆問題タイプの追加

ドラッグ&ドロップ組み合わせ問題[8]

正規表現問題[9]

◆Mahara[10] (e ポートフォリオ) との連携

Moodle と連携する e ポートフォリオシステムを開設し連携を確認

◆導入している市販 eLearning 教材[11]

INFOSS 情報倫理 2009 年度版 (以後毎年更新)

Word2007 入門

Excel2007 入門

PowerPoint2007 入門

◆利用状況

表 1 コース開設状況

カテゴリー	2009 年	2010 年
全学共通	10	9
教育学部	0	1
法学部	1	3
経済学部	48	54
医学部	1	0
工学部	0	0
農学部	1	3
地域研究科	1	0
その他	15	8
計	77	78

表 2 学部別学生利用者数

学部	2009 年	2010 年
経済	937	1111
法	51	204
教育	2	23
工	8	14
その他	6	24

利用学生の 80%が経済学部の学生であり、その経済学部に限ると 2010 年度の学生利用者数は、在学生の約 80%に当たる (表 2)。2010 年度は 3、4 年生の利用が増加していることが確認できる (図 2)。図 3 のアクセス数というのは Moodle に記録されたログの件数である。経済学部の必修科目「情報処理基礎」(受講生約 300 人) が前期に開講されるので前期のアクセス数が多くなっている。2010 年度は後期のアクセスが増加しており、Moodle の利用が進んでいることが確認できる。

学年別利用者数

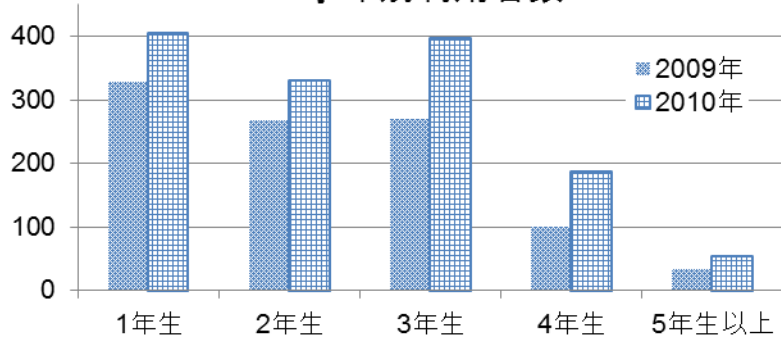


図2 学年別利用者数

1日あたりのアクセス数

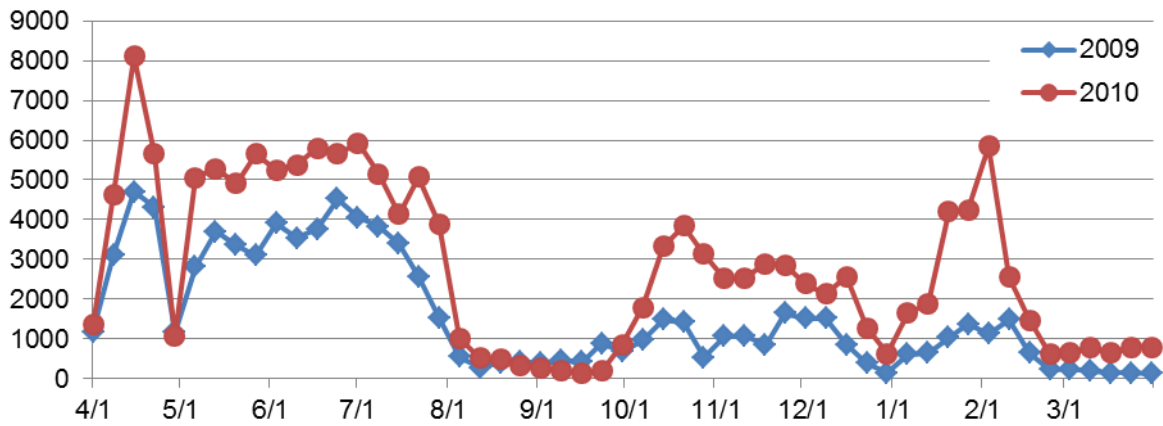


図3 1日当たりの Moodle アクセス数の推移

時間帯別アクセス数

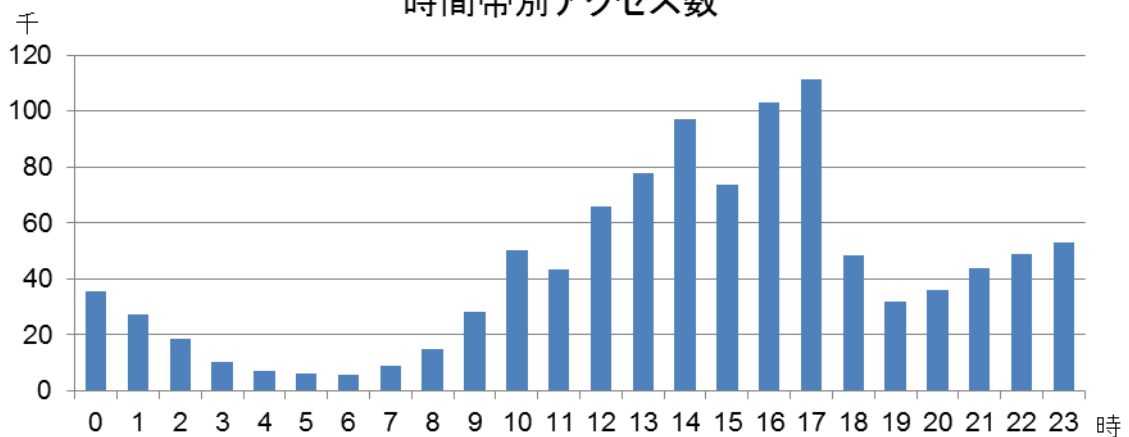


図4 2010年度時間帯別アクセス数

時間帯別のアクセス数では14、16、17時台が多くなっているが、これはその時間帯に経済学部の情報処理基礎があったためである。

利用状況からわかるように経済学部では利用者が増加しているが、他の学部での利用が進んでいない。

3 Moodle の負荷分散システム

2011 年度から情報リテラシーを eLearnng を活用して全学的に展開する計画を立てて準備を進めてきた。そのため、Moodle の同時利用者数が 200 人程度になると想定して負荷分散システムを構築し、2011 年 2 月末に公開した。

図 5 のように、システムは 5 台のラックマウントサーバーで構成されている。OS は使いなれた Debian を使った。Debian のインストーラーには Broadcom の NIC ドライバーが含まれていないので、初期インストール後、手動でパッケージ firmware-bnx2 を組み込んでから initrd.img を再構築した。

Moodle 負荷分散ハードウェア

◆負荷分散サーバー1 台

モデル名 HP Proliant DL 360 G6
CPU Intel Xeon L5520 2.27GHz
RAM 4GB
Disk 73GB RAID5

◆ウェブサーバー 2 台

モデル名 HP Proliant DL 360 G6
CPU Intel Xeon L5520 2.27GHz
RAM 8GB
Disk 73GB RAID5

◆データベースサーバー 1 台

モデル名 HP Proliant DL 380 G6
CPU Intel Xeon L5520 2.27GHz
RAM 4GB
Disk 220GB RAID5

◆ファイルサーバー1 台

モデル名 HP Proliant DL 320 G6
CPU Intel Xeon L5506 2.13GHz
RAM 4GB
Disk 900GB RAID5

◆無停電電源装置

HP R1500 G2

◆利用ソフトウェア

負荷の振り分け pound
Web サーバー Apache
データベース MySQL
ファイルサーバー samba
OS Debian/Gnu Linux 6.0 amd64



図 5 Moodle 負荷分散システム

上から、ファイルサーバー、負荷分散サーバー、ウェブサーバー2、ウェブサーバー1、データベースサーバー、コンソールの順

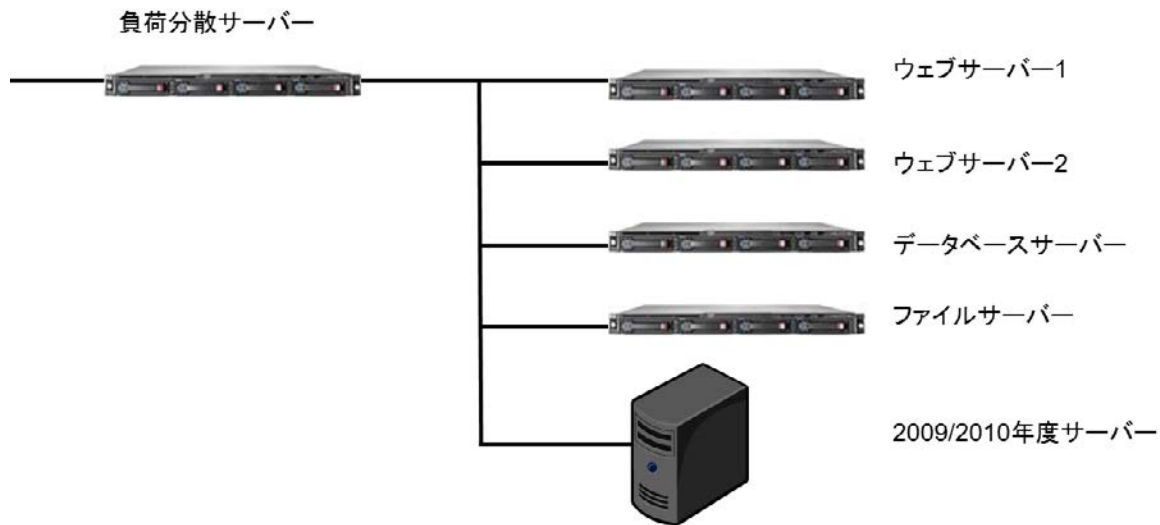


図 6 負荷分散システム接続図

負荷の振り分けは pound[12]により次のように行っている。

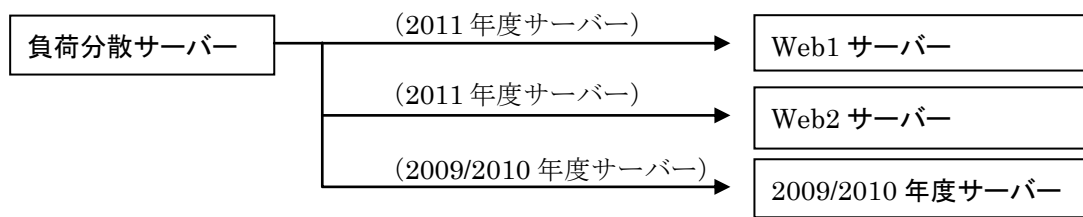


図 7 負荷分散設定

参考文献

- [1] Moodle の公式サイト、<http://moodle.org/>
- [2] 三重大学版 Moodle ソース、<http://oku.edu.mie-u.ac.jp/miemoodle/>
- [3] feedback、<http://moodle.org/mod/data/view.php?d=13&rid=95&filter=1>
- [4] questionnaire、<http://moodle.org/mod/data/view.php?d=13&rid=84&filter=1>
- [5] QuickMail、<http://moodle.org/mod/data/view.php?d=13&rid=92&filter=1>
- [6] Auto Attendance Block/Module、<http://moodle.org/mod/forum/discuss.php?d=68339>
- [7] Moodle for Mobiles、<http://moodle.org/mod/data/view.php?d=13&rid=876&filter=1>
- [8] Question Type: Drag-and-drop matching question type、
<http://moodle.org/mod/data/view.php?d=13&rid=975&filter=1>
- [9] Question Type: Perl-compatible regular expression question、
<http://moodle.org/mod/data/view.php?d=13&rid=1901&filter=1>
- [10] open source e-portfolio system、<http://mahara.org/>
- [11] 日本データパシフィック、<http://www.datapacific.co.jp/>
- [12] Pound - Reverse-proxy and load-balancer、<http://www.apsis.ch/pound/>

寄 稿

医科大から医学部へ

医学部情報ネットワーク管理室（総合情報センター兼任）

河内一芳

今井先生から頂いた表題を見た時は一種の回顧録かなとも思えたので、これは「定年にあたって言い残すことがあれば」とのご配慮と勝手に考えて書かせて頂きます。とはいえ特に遺言めいたことではなく、変遷のようなものを少しだけ、、、

旧香川医科大学に学内LAN(KMSnet)が施設されたのは1994年で、その7月に情報ネットワーク管理室が発足し、そのスタッフとして参加させられました。当時は実験実習機器センターでカルシウムイオン測定装置等のお守りをしていましたが、それに加えての仕事でした。ちなみに今も実験実習機器部門に所属しており、総合情報センターを加えると三つの部署に所属しています。

学内LAN施設当初、各講座にファイルサーバーと称してネットワークに接続できるパソコンを設置することになり急遽アンケートをとりましたが、Windowsを選択した講座、部署は数えるほどしかなく、ほとんどがMacintoshを希望していました。

当時ブラウザはMosaicで、回線のスピードが64Kbpsと細かったため、画像がじわじわ表示されるのがとても印象的でした。

同じく1994年に創刊された雑誌「インターネットマガジン」の創刊号が手元にあったのでページをめくってみると懐かしい言葉がたくさん出ています。Chameleon, MacTCP, Gopher, NetNews, 当時の事実上の標準ブラウザ、Mosaic, 等々で、この雑誌にもいろいろお世話になりました。

もともと事務系二人、技術系一人の素人ばかりが集められて管理し始めたのですが、事務系の方は異動があり、異動のない僕だけが居座り続け、今に至っております。もちろん僕だけでは能力不足なので非常勤とはいえ強力なスタッフに助けられながらですが。

1995年には附属病院の病院システム、メインフレーム1台、パソコン約300台が接続され、香川医科大学の共通インフラとなり、今に至っています。

1996年にはWebサーバーも設置され、回線スピードも1.5Mbpsに増強されました。この頃にはネットワーク専門委員会で若手の先生方からの協力も得られるようになり、運用も軌道に乗った感がありました。

香川医科大学時代は医療情報関係についての予算でネットワークの整備をすることもあり、高速医療情報ネットワークという事業名で各フロアまでギガビットの回線を施設したのは1999年で、2001年には各講座にギガビットの情報コンセントを設置しました。

その後大学統合を迎えますが、それに先立ち香川大学からは古川先生、香川医科大学からは原先生と僕が、先行して統合していた山梨大学を視察に行きました。その時山梨大学の先生から「全ての学部の協力が必須である」とのコメントを頂きました。

そして2003年に香川大学と香川医科大学が統合し新しい香川大学となりましたが、その時に全ての学部の協力が得られたかどうか、

統合に際し何故か医学部に総合情報基盤センターがやってきました。新たに採用になった先生方は生命科学系であったため、研究の傍らネットワークの勉強会をしたりしてネットワークの運用管理にも懸命に取り組んでおられましたが、旧香川大学時代から総合情報センターの運用に関わってこられた先生方から見ればその姿勢も中途半端に思えたのもしれません。また旧香川医科大学と旧香川大学との確執も随所に見られ、お互い協力的とは言えないものでした。

そんなごたごたもその後の組織再編で生命科学系の先生方は研究推進機構、総合生命科学センターに移られ、総合情報基盤センターは図書館情報機構、総合情報センターに変わった上で、総合情報センターは幸町に移り、医学部は工学部、農学部と同様に一分室となり、なんとか落ち着きました。

現在は香川大学としてまとまりつつあるようですが、医学部には未だに香川医科大学のドメイン名 (**kms.ac.jp**) のメールアドレスを使っているユーザーもたくさんいらっしゃいます。統合後のメールアドレスが @以降が**med.kagawa-u.ac.jp** と長ったらしく、これに比べて香川医科大学の時は **kms.ac.jp** だけで済んだので、これが愛着の一因でもあるようです。

またネットワーク的にも未だに医学部は他学部と一線を画しております。他学部と比較してネットワーク上を流れる重要な情報の量が格段に多いのでファイアウォールの設定ポリシーが他学部とは異なっているため、独自にファイアウォールを設けています。

現在ネットワークの次期システムへの更新の仕様策定が進められておりますが、更新にあたっては今度の仕様策定委員長は各キャンパスが対等な立場になるようなネットワークの構成をお考えのようですし、医学部選出の仕様策定委員の先生も過去のしがらみをご存じない若い先生ですので、やっとな新しい香川大学の転換点になるようなネットワークになることと期待しております。

定年とはいえ、まだすぐに辞めるわけではありませんが、これまで勤められたのはひとえにユーザーの皆様からのご理解、それに総合情報センターや医学部情報ネットワーク管理室のスタッフの援助のたまものと感謝しております。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

平成22年度 情報セキュリティ監査の実施

情報グループ 武田 亮、横山美保

情報セキュリティ監査

香川大学では、情報セキュリティ・レベルを確保し、継続的に点検・評価できるよう2年前より情報セキュリティ監査に取り組んでいる。

今年度についても、昨年と同様、ISMS（Information Security Management System）のPDCAサイクルを継続的に回していけるよう体制や明確化した手順に基づき、我々自身が情報セキュリティ監査を実施することにした。

情報セキュリティ監査の計画

情報セキュリティ監査の計画業務として、①年度監査計画の作成、②個別監査計画の作成を実施した。

- ① 年度監査計画の作成では、今年度の監査方針、監査対象、重点事項、監査体制、監査スケジュール等について策定した。

今年度も昨年度に引き続き、各部局等の実施手順書の展開・遵守の確認を目的に、昨年度までに監査を実施していない部局の中から2ヶ所を選定することとした。

- ② 個別監査計画の作成では、監査対象箇所ごとに、監査方針、監査項目、重点事項、監査体制、監査スケジュール等について策定した。

対象部局等と調整の上、工学部は工学部安全システム建設工学科と当該学部の支線ネットワーク、総合情報センターでは基盤システムを監査することとした。

情報セキュリティ監査の準備作業

情報セキュリティ監査の実施にあたって、「情報セキュリティ監査チェックシート」を作成した。

ここでは、

- ① 「情報セキュリティマネジメントシステム—要求事項（JISQ27001）」に対して、部局等の「実施手順書」でどのように規定されているか、規定の文言を抜粋した。

これにより、「貴部局の実実施手順書では、このように規定されていますが、どのように運用していますか？」といった質問となり、被監査者にとって質問内容が判りやすいという効果がある。

- ② 規定されていない場合は、要求事項の文言を抜粋し、規定に明記する必要があるかどうかを判断した。

- ③ 監査項目について、今回の監査で必須とするか、任意とするかの選別を行った。

工学部での監査項目については、前年度実施した医学部の監査項目を中心に踏襲し、更に学部毎に作成している実施手順内容から特有な事項を抽出したものを監査項目に

追加した。その結果、他学部との基準を見直すことにつながるだけでなく、さらに運用改善を促すことができた。

なお、総合情報センター基盤システムでは、昨年度、監査責任者から「基盤システム実施手順書の作成の遅れについて」の指摘にもかかわらず、未完成の状態であったため、情報セキュリティ管理部会長の指示により、平成23年1月現在における作成状況下での実施手順書に基づき、監査人4名による監査項目の洗い出しを行い、他の部局とは異なるパターンでの監査チェックシートを急遽完成することができた。

情報セキュリティ監査の実施作業

工学部は平成22年9月14日、総合情報センター(基盤システム)は実施手順書作成の遅れにより翌年3月9日の2日間で情報セキュリティ監査を実施した。

1ヵ所あたり約3時間程度で次のとおり実施した。

(資料1) 監査日程

	平成22年9月14日(火)	平成23年3月9日(水)
午前	10:00~12:00 工学部 安全システム建設工学科 被監査者 工学部安全システム建設工学科 石塚正秀 監査人 総合情報センター(併任) 八重樫理人 総合情報センター 曾根計俊 場所 工学部2号館2208会議室	/
午後	13:30~16:30 工学部 支線ネットワーク 被監査者 工学部情報セキュリティ管理委員会委員長 最所圭三 工学部システム管理責任者 安藤一秋 工学部システム管理者 川口政秀 監査人 総合情報センター(併任) 八重樫理人 総合情報センター 曾根計俊 場所 工学部2号館 2208会議室	13:00~15:00 総合情報センター基盤システム 被監査者 総合情報センター基盤システム管理責任者 林 敏浩 総合情報センター基盤システム管理者 瀬野芳孝、曾根計俊 監査人 情報グループ 武田 亮 情報グループ 横山美保 場所 総合情報センター セミナー室

情報セキュリティ監査の結果

今回の監査結果は、以下のとおりであり、工学部は、セキュリティの意識が高いとともに、実施手順書の認知度も高かった。

また、総合情報センター基盤システムについては、情報セキュリティの意識を強く持っているものの、実施手順書の運用達成度が低かった。

(資料2) 平成22年度 情報セキュリティ監査結果

工学部支線ネットワーク	①対策基準3.2(2)では、情報セキュリティ管理責任者及び部局情報セキュリティ責任者は、システム管理責任者及びシステム管理者の研修会等を実施することになっており、セキュリティ情報等を周知しているが、研修会等では実施していなかった。
工学部 安全システム 建設工学科	①工学部実施手順書(1.1.2),(1.1.7)では、情報資産管理台帳(情報)を作成し管理することになっていたが、情報資産(情報)に対する台帳が作成されていなかった。 ②対策基準(4.2.4(3)),(4.2.6(1))では、電源ケーブル及び情報ケーブルの切断を防ぐための措置を施すことになっているが、石塚研究室学生オープンスペースのテーブル下に、ケーブルが使用者の足に引っかかりやすい場所が1箇所あった。
総合情報センター 基盤システム	①実施手順書4.3(1)では、基盤システム管理責任者及び基盤システム管理者は、職員等に対し情報セキュリティポリシーについての研修会を実施することになっているが、実施していなかった。 ②実施手順書4.4(5)では、基盤システム管理責任者は、学内からの不正アクセスによって学外に被害を及ぼし、その事実関係の説明を求められた場合の実施手順を定めることになっているが、実施手順が定めていなかった。 ③実施手順書3.1では、基盤システム管理責任者は、基盤システムの情報システム管理情報を所定の様式5により保管することになっているが、様式5が作成されていなかった。 ④実施手順書3.3では、基盤システム管理者からの管理状況を様式6により、年1回以上基盤システム管理責任者に提出することになっているが、様式6が作成されていなかった。 ⑤実施手順書4.3(3)では、基盤システム管理責任者及び基盤システム管理者は、緊急時対応を想定した訓練を実施することになっているが、現時点では実施されていなかった。 ⑥対策基準5.2.3.(5)及び実施手順書6.1.3(5)イ、6.2.3(4)、6.4.2(4)では、基盤システム管理者は、対外接続ネットワーク・基幹ネットワーク・システム機器の保守について、その記録を作成し保管することになっているが、保守記録を作成していなかった。 ⑦対策基準5.2.3(3)及び実施手順書6.1.3(3)では、ファイアウォール等のログについて、定期的に分析・調査することになっているが、問題が生じた時に分析しており、定期的には分析・調査をしていなかった。 ⑧対策基準5.2.3(6)イ及び実施手順書6.1.3(6)イ、6.2.3(1)ニ、6.3.2(5)ホでは、基盤システム管理責任者は、定期的に対外接続ネットワーク、基幹ネットワーク、システム機器の監視記録を確認・分析することになっているが、問題が生じた時に分析しており、定期的には確認・分析をしていなかった。 ⑨実施手順書6.1.3(6)ニ、6.2.3(1)ハ、6.4.2(5)ニでは、基盤システム管理者は、対外接続ネットワーク、基幹ネットワーク、システム機器の監視記録に対して除去や改ざんから保護する措置を施すことになっているが、これらの対策を講じていなかった。

最後に

現在のようなネットワーク社会においては、情報システムへの不正侵入などの手口が非常に巧妙化しているとともに、万一情報が漏洩・改竄・破壊された場合の影響や損害は計り知れないものがある。

そこで、香川大学では、情報セキュリティを確保するために遵守すべき行為および判断の基準を示す「情報セキュリティポリシー」、及び具体的手順を部局ごとに定めた「実施手順書」を制定し、セキュリティリスクへの心構えや備え、ルールを明確化している。更に今年度は、おもに部局等のシステム管理者、及びシステム担当者を対象とした情報セキュリティセミナー（ネットワーク・セキュリティ最新動向について）を開催した。

また、平成22年12月より e-Learning「教職員のための情報倫理とセキュリティ」も開講されており、学校教職員が押さえておくべき情報倫理とセキュリティのポイントにつ

いて学習できる環境になっているが、昨年度に引き続き、その認知度と浸透度は十分とは言えない。今後とも継続して「情報セキュリティ監査」や「情報セキュリティ教育」を実施することにより、現状を把握し、改善策を検討・実施し、セキュリティ・レベルを向上していく必要がある。

情報セキュリティ監査は、会計監査などとは異なり法制化されたものではないことから、未だ多くの大学において実施されていないのが現状である。しかし、セキュリティ・レベルの向上策として非常に有効であることから、香川大学としては、監査の質を徐々に高めつつ継続して実施できるよう体制を整えていきたい。

最後に、ご多忙の折、今年度の情報セキュリティ監査の準備から報告まで携わっていただいた監査人八重樫先生、曾根チーフにこの場を借りまして感謝を申し上げますとともに、被監査部局であった工学部及び総合情報センターの方々におかれましては、快く監査実施へのご理解ご協力いただきましたこと、改めてお礼申し上げます。

以上

活動報告

情報基盤システムのこの一年

総合情報センター 今井慈郎, 曾根計俊

平成 22 年度の基盤システムを振り返ってみると、この 1 年間、やはりいろいろな事態が発生したことが思い出される。当に徒然なるままに、書き留めてみることで、この 1 年を外観したい。

平成 22 年 4 月には、本学の代表 Web サーバが、新学期早々にダウンした。医学部での新入生ガイダンス中に、ダウンしたため、急遽、関係各位の努力で状況を調査すると、原因は、「新しいホームページを動かすためにインストールした MySQL の過負荷によるもので、クライアント数が 100 を超えたぐらいから反応が非常に遅くなる。残念ながら、サーバ性能によるもので、即効薬的対策は難しいとのこと」だった。

ついでに記録を散見すると、LDAP サーバの障害により、DHCP サーバが機能せず、学生さんの持ち込み PC などへ IP が配布できず、アクセス障害が発生した、などの記載を見つけた。新学期は前途洋洋と言いたいところだが、基盤システムにとっては、前途多難の幕開けとなっていたようだ。

同 5 月には、QIP トラブルが発生した。「本部管理棟のセグメントにおいて、

- (1) 無認証の PC を接続すると 172.16.208.xx のアドレスを取得
- (2) 認証ページで認証すると OK のステータス
- (3) PC を再起動しても 172.16.208.xx のアドレスしか取得できない
- (4) 認証済みの PC は本学の正規な IP アドレスが取得できる
- (5) (2)の PC を他のセグメントに接続しても 172.16.207.xx のアドレスしか取得できない。

同セグメントで認証すると問題なく本学の正規な IP アドレスが取得できる。

DHCP のアドレスは正常に割り当てられているので、どうも認証に問題がある」との調査結果があり、このセグメントがそれまで、DHCP 利用者がいなかったため、問題発生が確認できなかったようだ。今後のチェック体制を考える上での参考にしたい。

同 6 月には、卒業生データ削除作業が実施された。これは毎年この時期に実施される言わば恒例作業であるが、定期健診で病気が見つかる喩えのように、トラブル発生に見舞われる危険と隣り合わせとも言える。一例を挙げると、工学部などでは、「卒業生のアカウントで DHCP 認証登録していた PC でネットワーク利用ができない状況が発生しています。この点については、再三、事前に現在在籍している方のアカウントで再登録するよう周知していましたが、それを怠っていた方が多数存在するようです。」などの事態が発生した旨の報告がなされていた。

ついでに記録を散見すると、中村教授から、「学生メールサーバの一斉送信時のエラー再発」と題する注意勧告のメールがあり、「この件、解決したと信じていましたが、再発しました。本日(6/7)18時35分ごろ、Moodle が 3 秒間に 60 通のメールを送信したようです。そのうち 9 通が User Unknown になりました。」という旨の報告を拝受。実はこの事案は

導入業者さんも頭を抱えていた事案であり、本センターとしても対応策を見出しかねていた。

そして忘れてならない事案として、『警告メール「Kaspersky Malware Alert」の顛末』という記載があった。某学部の Web/mail サーバにおいて、「Kaspersky Malware」感染を外部から指摘され、大慌てで対策したという顛末である。センター関係者もバタバタと振り回される一幕もあり、この事態には業者各位の支援も有り難かった。学内の対応策の1つとして、「念のため、工学部は、工学部の Fortigate で対象サーバからのパケットは全て DENY するよう仕掛けておきました。」などの報告があった。

同7月には、サーバのパッチ当て、ネットワーク機器の異常(機器の故障ではなく、取付に問題)、医学部情報ネットワーク管理室内の MC(Media Converter)の動作不良(これはキャンパス間高速回線レンタルでの借用機器)などの報告がなされた。MC が故障すると、暑い夏を再確認する、という習性がいつの間にか身に付いていた。

同8月には、教育用 PC サーバおよび LDAP サーバのメンテナンス作業など、半期に一度メンテナンス作業が予定されていた。8月の記録で思い出されるのは、「キャンパス間 L2 スイッチの接続テスト実施」である。8月18日(水)～8月20日(金)の3日間で実施され、導入業者さんの綿密な計画のもと、4キャンパスが一丸となって、

- 1) 内線電話の正常動作を確認
- 2) 教育系ネットワークの正常動作を確認
- 3) 事務系ネットワークの正常動作を確認

を行った。しかし、某キャンパスでは諸般の事情で正常確認ができない事態となり、その川口さんの活躍で設定チョンボも発見・修正され、機器の動作確認後、今ではいつでも稼働できるよう静かに待機していると報告された。

これには、いくつか後日談があったが、次の1つの紹介に留めたい。「本日(8/20)キャンパス間の L2SW を元の Catalyst に戻して、順調に運用できておりましたが、同スイッチに ping が届かないことがわかり、河内様の情報に基づき、幸町バックボーン(Catalyst4506)の arp をクリアしたところ正常に戻りました。貴重な情報ありがとうございました。」

同9月には、前月がいろいろとあったためか、この月には特段に報告する事案がなかった(ということが嬉しいような、つまらないような??)。

同10月には、「センターWeb/mail サーバと認証 DHCP サーバのバックアップを取っている RAS サーバが、電源が入らずハード故障」「本部管理棟 3F 秘書室でのネットワーク機器の不具合」などの報告がなされた。また、庵治マリンステーションの WAN 接続回線の増速化工事がなされた。

同11月の専門委員会資料を確認していて、大変驚いたことには、報告仔細が欠落していたことだ。確認した結果、どうやら「大チョンボ」で、10月分の資料をそのまま送付したことによるチョンボで、今更になるが、ご迷惑をお掛けした関係各位に深くお詫びしたい。

同12月には、ユーザ管理サーバ(devias)がダウン、多数の再送信メールが蓄積(12月初め、スパム送信に起因する先方受信拒否による再送キューが溜まったための現象)などが報告さ

れた。『スパム送信に起因する先方受信拒否』という記載に、アレ??と思い、確認したところ、以下のような状況が記録されていた。

「スパム送信ブラックリストに登録(現在、解除済み)」という報告があり、「クラッキングによるスパム送信(11月25日木曜日ごろと想定)により、本学のメール送信サーバがスパム送信ブラックリストに登録され、本学から外部サイトへのメールが送信不能に陥った。その後、職員各位および機器導入業者各位の迅速な対応により、現在、最悪な事態は脱する。ブラックリストの登録も順次解除。」とのことであった。

ちなみに、これは、「Webmail 利用の注意喚起(12月2日)」と題するメールにおいて、以下のように説明をなされた事態の顛末を示している。「ある部局の Webmail のアカウントがハックされ、そこから大量のスパムメールが学外に発信されました。それにより、本学の送信サーバがブラックリストに掲載されて、受信拒否をするサーバが続出しました。原因は安易なパスワードが辞書攻撃によりハックされたものと思われます。そこで squirrelmail において攻撃されているかどうかを確認するためのログ保存を設定していただきました。学外 IP より多数の LOGIN_ERROR が出ている場合は辞書攻撃されると思いますので、ご注意くださいようお願いいたします。また、Webmail のセキュリティを上げるための検討をお願いしております。」という報告がなされた。

この月にご難続きのようで、音声系ネットワークに不具合が発生(12月27日7:40頃)その後、機器交換によって復旧したとのこと」などの記載も散見された。

年が明けて、平成23年1月には、学生用 Web/メールサーバ(swms2)httpd が停止(1月16日)、DHCP サーバの不具合(1月27日)という記載が散見された。なんとか、穏やかな新春となって欲しいものだ。

同2月には、医学部対向メディアコンバータがダウン(2月19日(土)06:32am)、坂出エリアで通信断発生(2月25日(金)09:33~09:36am)などキャンパス間・附属施設間の通信網がトラブルを生じた。特に、医学部事案は、土曜日の早朝で、かつ、回線業者の局内 MC である点で、業者側へ早急な対応に関する要望が強く寄せられた。

以上、この一年間を概観したが、結構、いろいろあった(その意味では貴重な体験の)一年間であった。この教訓を活かしつつ、更なる業務改善へ努力したい。

はじめに

大学を取り囲む環境は年々厳しくなっており、業務量の増大と人員の削減の問題を併せて抱えている中、大学事務の経費節減、高度化・効率化のため、ますますの情報化推進が求められている。

現在、事務システムは、汎用システムからの脱却をほぼ完了し、事務局情報管理機能・入試、学生情報管理機能がハード・ソフトとも個々に独立して動いているが、それらの機能やデータベースを包括的に管理し、一体として利用促進することにより、いっそうの業務効率化が期待できる。

また、昨年 7 月に情報グループの執務室とサーバ室を総合情報センターに移設し、今年 4 月には総合情報センター所属技術職員が情報グループメンバーとなり、組織、環境ともに総合情報センターと情報グループが一体となり、学内の情報管理、情報化推進を一体的に一元化された組織で管理、推進できるようになった。

業務改善の取り組み

1.全学用グループウェアの導入

事務部門約 600 名で導入・活用していたグループウェア(TeamWARE)に代わり、全学の教員も含めたユーザ数を用意したグループウェア(サイボウズ・ガルーン2)に移行し、スケジュール機能、掲示板機能、ファイル管理機能を全学的に管理することにより、今まで学部ごとに行われていた情報共有のみならず、全学的な情報共有・情報流通、事務の合理化・効率化を推進する体制が整った。

2.ペーパーレス会議・遠隔会議

会議資料を紙資料で配布することなく、サーバ上にイメージファイルで掲載することにより、会議資料準備の効率化とペーパーレスによる経費節減を実現してきた。

また、分散キャンパスので会議が効率的に行えるよう、各キャンパスに、当初 eK4 で導入した講義用 Polycom に加え、会議用として新たに各キャンパスに Polycom を導入した。加えて、会議準備の労力や移設による機器の故障を防ぐため、幸町キャンパスでは、第一会議室、研究交流棟 5 階研究者交流スペースに、それぞれ固定設置した。

更に、当初 eK4 で導入した RoundTable を利用した LiveMeeting による Web 会議の利用を促進し、ペーパーレス及び会議のための移動の時間的、経費的節減を図っている。

3.統合認証システムの新システムへの適用

従来の教務システムの Web ページは、学生、教員とも内部認証で接続していたが、昨年度、運用開始した教務システム、証明書自動発行機システムは、統合認証システム対応とし、稼働中の就職支援システム、大学基礎情報データベースシステム、サイボウズ・ガルーン 2 とともに、学生、教職員利用 Web システムの認証の統一を推進した。

4.IC カードシステムの導入促進

学生証・職員証が IC 化されたことに伴い、学内の入館・入構システムを順次、IC カード対応するため、担当部局と協力し、既存システムからのデータ連携が効率的に行えるようシステム導入を行った。

また、学生の健康診断時に検査受付を学生証の磁気データを読み取ることにより、記入ミスを防ぎ、受付の効率化をしていたが、学生証が IC 化されたことに伴い、教育学部 宮崎教授のご協力を得て、Pasori による読み取りシステムに移行した。

5. データベースの連携

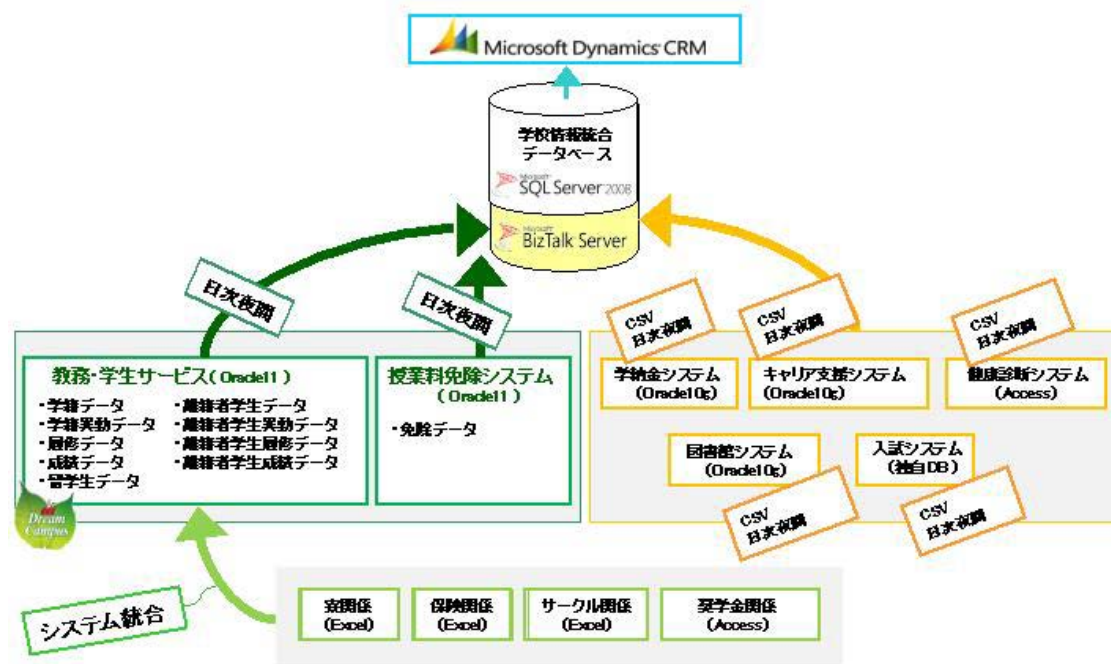
従来、各システムが別々に稼働しており、管理者も異なっていたため、システムやデータ

ベースの連携利用できる可能性が不明であり、データの二重登録が行われるなど、労働力を浪費している可能性があった。

昨年度、運用開始した教務システムは、講義データを大学基礎情報データベースシステムの教員評価基礎資料作成用データとして、教員データ・学生データ・講義データを出席確認システムへ、学籍データ・成績データを証明書自動発行システムへ、それぞれ連携している。

また、学生系のシステムを以下のとおり連携し、「学生キャンパスファイル」として、運用開始している。

学生キャンパスファイル連携方法/連携タイミング



今後の業務改善の計画について

今後、学生・教職員の益々の利便性向上とセキュリティ確保のため、Web システムの統合認証を進め、学生・教職員ポータルサイトによるシングル・サインオンを実現するため、全学的に導入したグループウェアの利用促進を図り、ページの充実と利用環境充実のための無線 LAN 環境などのインフラ構築を総合情報センターと共に推進する。

また、学内に存在するデータベース、システムを再度洗い出し、システム更新時に効率的な更新ができるよう年次計画をたて、更新費用の削減を図る。

従来どおり、財務、人事、給与、教務などの基幹系業務システムの維持管理、運用担当部署への運用支援、業務改善に伴う機能追加、新システム導入支援、ネットワーク管理、情報セキュリティ対策、事務職員情報リテラシー向上に関する業務、日常的な PC トラブル等に対応するヘルプデスクを行いつつ、変化する業務に対応すべく、情報化推進の立場からの一層の業務改善の可能性を探っていく。

医学部情報ネットワーク管理室報告

総合情報センター 河内 一芳・多田 志乃舞・川田 延枝

1. 院生研究棟光ケーブル配線

今までは院生棟各階に設置されたスイッチより、一旦院生棟7階に設置された Catalyst2960G に集約し、そこから基幹スイッチである Catalyst3750G に接続されていました。

工事を行うことにより、院生棟各階スイッチより光ケーブルにて直接基幹スイッチに接続されるようになりました。

ケーブルの規格は GI50/125 マルチモード光ファイバで、10GBASE-S (IEEE802.3ae) に準拠しています。

2. 医学部キャンパス内無線 LAN

平成21年度に導入した新無線 LAN システムに、アクセスポイントを追加整備しました。

医学部管理棟・講義棟・RI 実験施設・動物実験施設には新規に設置し、ユーザから特に要望があった基礎臨床研究棟6階、7階に計13台追加整備しました。

無線 LAN 接続時の認証に必要な QIP サーバが幸町キャンパスにあり、キャンパス間のネットワークが停止した場合や、QIP サーバがダウンした場合には無線 LAN に接続できなくなるという昨年度の課題は、新たに医学部に QIP DHCP サーバを導入し、QIP サーバとの通信断時には医学部代替 QIP DHCP サーバに自動で切り替わるシステムを導入することで解決しました。来年度もユーザからの要望をもとに、アクセスポイントの追加整備を予定しています。

3. VPN

医学部では VPN (Juniper SA2500) を導入し、学内でしか利用できなかった例えば、図書館医学部分館の電子ジャーナルやデータベースを、VPN を経由することによって自宅等の学外からでも利用できるサービスを、開始しました。

この VPN は SSL VPN で、ユーザは特別なアプリケーションをインストー

ルする必要もなく、ブラウザを起動し指定された URL にアクセスし、ログインすればサービスを利用することができます。

認証はユーザをローカルに登録して認証することも、LDAP との連携も可能です。

さらに、インフルエンザ等のパンデミック時には、出席停止になった学生に「講義自動収録システム」で収録された講義を、自宅から視聴することもできるようにしました。

この場合、セキュリティの観点から学生証による本人確認をおこなうようにしています。

来年度は、地域医療教育支援センターからの依頼で学外実習に出た学生の実習評価システムへのアクセスも開始できるよう準備を進めています。

またユーザからの要望にもできるだけ柔軟に対応するようにしています。

(例)

部署内設置のネットワーク HD に学外からアクセスしたい

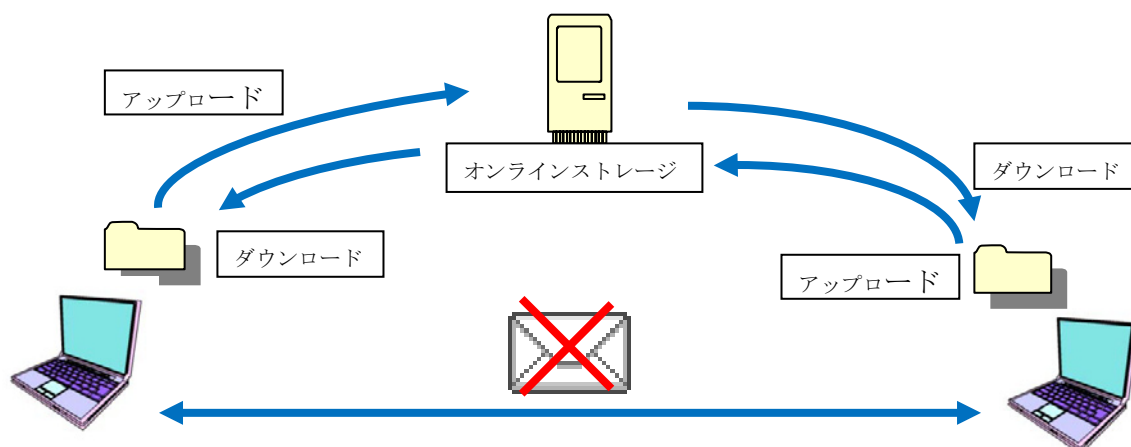
研究室のサイボーズに学外からアクセスしたい

4. オンラインストレージ

メールに添付できない大容量ファイルのやり取りが必要な場合に便利なのが、オンラインストレージです。

フリーで利用できるものがたくさんありますが、「学外のサーバは不安」とのユーザの声もあり、医学部で整備することにしました。

使い方は簡単で、オンラインストレージにログインしファイルやフォルダをドラッグアンドドロップでアップロードします。メール送信機能も備わっていますので、送りたい相手のメールアドレスを入力して送信すれば相手にファイルの場所を記した URL が届きます。受け取り側の人、その URL にアクセスすればファイル等のダウンロードができます。



農学部情報基盤室報告

農学部技術職員 土居 敬典

○ 情報処理室 1・2 (PC ルーム) の利用

農学部の情報処理室 1・2 に本センターが設置している教育用パソコンの平成 22 年度年間利用状況を報告する。

情報処理室の講義等での利用は年間に数件程度で、ほとんどの場合個人使用である。

月別で見ると、レポート提出や卒業論文等が多くなる 1・2 月の利用時間の増加がみられ、夏休みの 8・9 月の減少がみられる。また、10 月 14 日 10:30～12:00 に附属図書館農学部分館が講義「Web of Science, EndNote Web の利用方法説明」を実施したため、その他の利用が増加している。

図 1 及び図 2 に見るように、学部学生の入学時ノート PC 購入が開始され 4 年以上が経っているが、いまだ利用者の 50% 以上が学部学生である。農学部としては無線 LAN や個人用 PC からの印刷が可能なプリンター等の設備充実を図る必要があると思われる。

図 1 月別利用者別年間利用時間

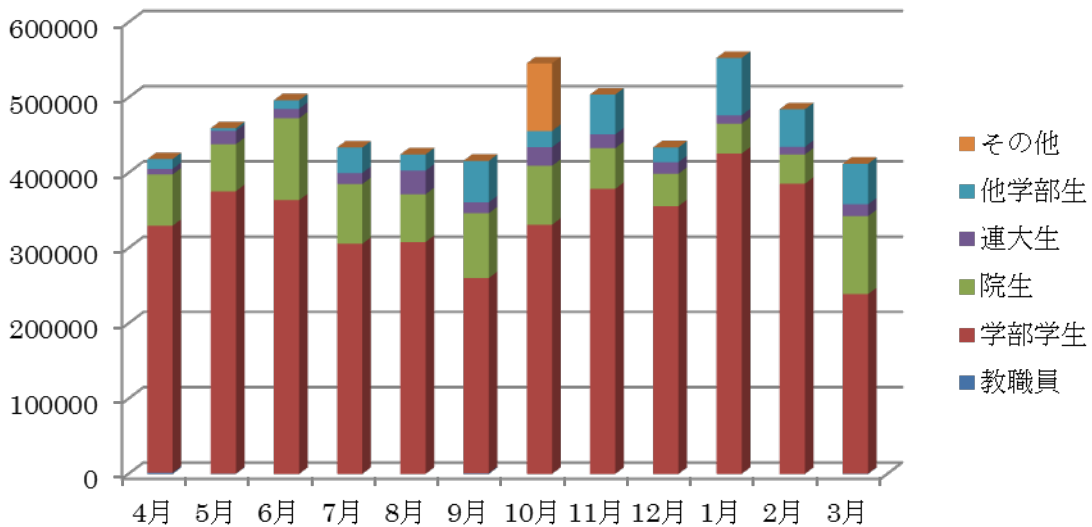


図 2 利用者別利用時間割合

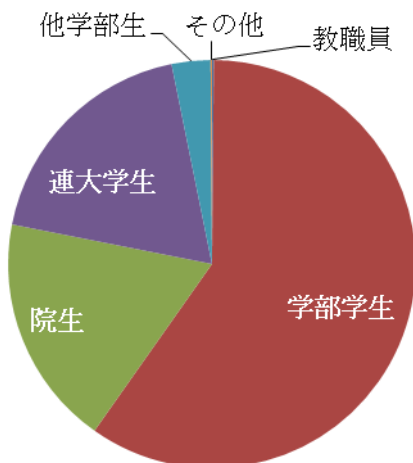
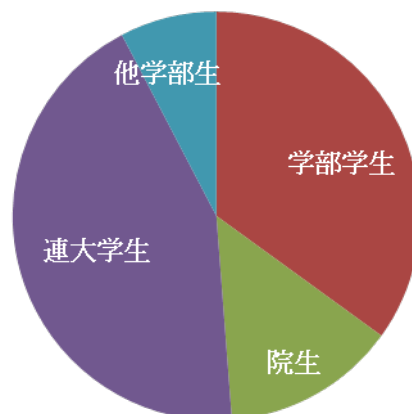


図 3 利用者別夜間利用時間割合

(午後 21～翌 6 時までを夜間とする)



夜間（午後 21 時から翌 6 時まで）の利用は、連大生が大幅に多くっており主に連大所属の留学生が利用していると思われる。また他学部生の利用も増えており、特定の医学部生が利用しているのが目立つ。

○ 農学部情報リテラシー教育（IT 活用概論）

農学部では、情報リテラシー教育として毎年 1 年生対象に「IT 活用概論」を実施しているが、毎年総合情報センターの林先生に「コンピュータとネットワークの基礎」について講義していただいている。また今年度から、Word・Excel の実習には情報通信交流館 e-とぴあ・かがわより講師を招き実践的な講義を行った。



授業風景

○ 多地点制御遠隔会議システム

東京農工大を中心とし、全国の国立大学法人の連合農学部研究科を結んだシステムの「多地点制御遠隔講義システム（High-Definition 遠隔講義システム）」の運用の状況について報告する。

多地点遠隔会議システムを利用した講義・会議は以下の表の通り、愛媛大学連合農学研究科および東京農工大連合農学研究科主催で実施した。

表 1 多地点遠隔会議システムを利用した講義・会議について

講義・会議名	開催頻度	主催
英語講義	毎週木曜日 (10時～, 13時30分～)	愛媛大学連合農学研究科
特別セミナー	6月9日～1月21日(計29回) (内5回香川大学主催)	愛媛大学連合農学研究科
連合一般ゼミナール(日本語)	6月16日～18日	東京農工大連合農学研究科
連合一般ゼミナール(英語)	11月17日～19日	東京農工大連合農学研究科
学位論文中間発表	期末に専攻ごと5回程度	愛媛大学連合農学研究科
3大学の会議及び打ち合わせ	2月に1回程度	愛媛大学連合農学研究科
アグロイノベーション博士セミナー	7月27日, 8月26日, 9月28日, 10月29日, 11月29日, 12月1日	東京農工大連合農学研究科

ウィルス対策

総合情報センター 今井 慈郎・川田 延枝・多田 志乃舞・渡部 周平

ウィルス対策はこれまで学内のユーザ各位にご理解とご支援をいただきつつ、継続して参りましたが、ある意味では、1つの節目を迎えつつあります。それは現行のシマンテック製品を使い続けるか、新たなウィルス対策ソフトウェアを購入することを決断するか、などの判断を迫られていることからご理解いただけるかもしれません。正直言って、継続ライセンスは安価である点が大きなメリットでしたが、残念ながらシマンテック製品への評価は芳しくありません。事情は個々のユーザのお考えにより様々ですが、理由のいくつかは（1）起動時の遅さ（2）より高性能の製品も市販を開始（3）逆に同程度のフリーウェア的製品も出現・・・等々です。但し、コストと配布条件などを検討すると、やはり現行のシマンテック製品に一日の長があったことも事実です。しかし、曲がり角である点を意識しながら、学内ユーザ各位のご意見を反映させたウィルス対策ソフトの一括購入を（その継続の有無を含めて）検討して参りたいと存じます。

平成22年度配布状況は以下の通りです。

部 局 名	Windows 用			Macintosh 用		
	新規	更新	合計 配布数	新規	更新	合計 配布数
教育学部	24	307	331	0	61	61
法学部、経済学部、連合法務、 地域マネジメント	12	208	220	4	32	36
医学部(附属病院含む)	88	808	896	0	210	210
工学部	17	537	554	2	15	17
農学部	17	58	75	3	16	19
図書館	0	0	0	0	0	0
留学生センター (インターナショナルオフィス)	16	20	36	2	2	4
大学教育開発センター	22	26	48	0	2	2
社会連携・知的財産センター	0	36	36	0	1	1
危機管理研究センター	0	2	2	0	0	0
希少糖研究センター	0	7	7	0	0	0
総合生命科学研究センター	4	88	92	0	50	50
研究企画センター	0	3	3	0	0	0
瀬戸内圏研究センター	0	8	8	0	0	0
生涯学習教育研究センター	0	7	7	0	0	0

微細構造デバイス統合研究センター	6	4	10	0	0	0
アドミッションセンター	0	5	5	0	0	0
キャリア支援センター	0	1	1	0	0	0
保健管理センター	2	11	13	0	1	1
附属病院	0	0	0	0	0	0
事務局	27	866	893	0	7	7
教育学生支援室	0	0	0	0	0	0
総合情報センター	9	66	75	0	5	5
広報センター	0	1	1	0	0	0
合計	244	3,069	3,313	11	402	413

今年は大流行したり、世間を席卷したウィルスはあまりありませんでしたが、ウィルスを仕込む手口は、日々刻々と変化(進化)・複雑化・巧妙化しており対応が追いついていないのが現状です。特に Web からの脅威は年々増加しており、犯罪に巻き込まれる可能性もゼロとは言い切れません。対策としては、ウィルス対策ソフトのパターンファイルを最新の状態にしておくことや、OS のアップデートを行い常に最新の状態にしておくことはもちろん、Internet Explorer、AdobeReader、AdobeFlashPlayer 等のセキュリティを最新の状態にしておく事をお奨めします。

また、スマートフォンを利用する方も多くなってきました。スマートフォンをターゲットしたウィルスは既に登場しており、SD カードを媒体にしてコンピュータに感染してしまう可能性もあります。スマートフォン(Android)向けのセキュリティソフトもありますので、インストールすることをお奨めします。

平成22年度 スпамメール対策この一年

スパムメール対策機器管理部会

平成22年度もスパムメール対策は活況を呈した一年だった。もちろん、主役は本学に導入された2台のBarracuda SPAM Firewall（以下、Barracudaと略記）である。では脇役はといえば、やはり、総合情報センターおよび情報グループ各位からなるその管理者となろう。仔細を記述することは、プライバシーの点でも、セキュリティーの点でも避けるべきなので、かなり一般的な表記とするが、以下のような代表的なスパムメール対策（騒動）の顛末を紹介したい。

1) 「×○大学からのメールが届かない」

これは基本的に2つの理由が考えられる。

(イ) 本当に×○大学のメール(送信)サーバがBarracudaのブラックリスト(BRBLと略記)に登録されてしまい、そのサーバからのメール送信をBarracuda（ということは世界中のBarracudaユーザのにも）がブロックして、メールを遮断している場合

(ロ) 元々の送信サーバは無罪（BRBLには登録されていない）であるが、経路上のサーバ（結局、リレーしていることになるが）が運悪くBRBLに登録されており、Barracudaがブロックしている場合

どちらも、メールが届かない現象は変わらないが、（イ）の場合には、抜本的な対策が不可欠となる。一方、（ロ）は良く携帯電話やPHSなどの利用して、組織外からメールを送信する場合に、公衆サーバなどがスパムの踏み台になっている場合にそのような運悪い状況になる場合もありうる。これに類する障害案件に以下のようなものがあつた。

2) 「○△学会からのメールが届かない」

当初、調査依頼を受けて、まさか学会事務局がスパマに？と首を傾げたが、どうもそのまさかの事態であることが判明した。このケースは、学会専用マシンでWebサーバやSMTPサーバを運用するのではなく、複数ドメインを1台で賄うマルチドメインサービスの傘下にあることが遠因と言える。ちなみに、BRBLでは、IPReputationと呼ばれる方式で、スパマが関与するサーバのドメイン名ではなく、IPアドレスが検査対象であり、マルチドメインサービスは便利な反面、このような落とし穴があるのか、とようやく気づいた。

現在は一部を除いて個人用の隔離ボックスは利用できない仕様に変更せざるえない状況となったが、次のような笑えない状況もあつた。

3) 「△▲からの学内メールが届かない」

学内メールなのでBarracudaが関与していないはずだが・・・というのが、この話を耳にしたBarracuda管理者の異口同音の反応である。ところが、である。メールは届かない。考えあぐねている時に、隔離ボックスの話題が耳に届いた。どうも隔離ボックスの設定で、

yahoo.co.jpやgmail.comからのメールをブロックすることが可能である。しかも、偶然ユーザはこれらのドメイン名を、alias機能を使用して名称変更して使用できる。そこで、学外から、あるいはyahoo.co.jpやgmail.comからのメールを拒否する設定にしていた場合、学内メールであっても、学外を経由するので、Barracudaのフィルタ機能を通過することになり、ブロックされることになった。現在は、個人用隔離ボックスが利用できないユーザも多いので、却ってこのようなトラブルは少ないが、灯台もと暗しともいえる。

4) 「まさか、それってスパムなの？」

というような事例もあり、びっくりも経験する。というのも、近隣の大学から急にメールが届かなくなった事態は、結果として次のような事情が原因だった。Barracudaではスパムはもちろん、「スパム的なメール」もブロックする。以前、greylistingという方式が採用されていたのも、スパムはある短期間にメールを特定のアドレスに集中させる場合もあり、それもブロックすることがスパム対策にも要求される。そして・・・多量の添付ファイルを含むメールを（学内であれば、思い当たる方もあるいは読者にも居られるかもしれない）送信する場合、メイラによってはご丁寧に小片に分解して連続して送信するサービスを採用するケースもある。これ自体は言わば親切であるが、それがインターネット経由となれば、思わぬ影響もある（あった）。Barracudaはこれをスパム攻撃と見なし、以降、その送信アドレスからのメールをブロック。結果として、同一ドメインからの(同一IPアドレスからも)メールはブロックされ続け、メールが不通になる。解除するには、まず当該アドレスをBarracudaのホワイトリストに設定（これは時限的）し、BRBLの登録も解除する必要がある。

5) 「国による差別ではないはずです」特定の国からメールはスパム扱いを受け易い

もちろん、Barracudaは国を差別するなどとんでもない。但し、国情の違いで、スパムに対しておおらかな国民性もあろうと思われる。欧米から見れば、あるいは日本も同じかもしれないが、超大国でも新興諸国でもスパムの扱いを疎かにすれば、Barracudaは容赦なくブロックする。大学間の友好協定があろうがなかろうが、その点はお構いなしである。これについてはインターナショナルな先生方には申し訳ない。でも、スパム対策はやはり必要ですよ。

共同研究者や付き合いの深い組織とのメールブロックに起因するトラブルには誠に申し訳なく感じており、改善も早急に試みたいが、しかし、スパムは（あるいはスパムとの判断は、というべきか）突然、前触れも無く訪れるから、厄介となる。どうして「あそこからメールが届かないのか？」学会活動や共同研究など場合、申し訳ないとお詫びするしかない（実は、自身もそのような被害を過去に被った経験がある）その上で敢えてご理解いただきたいのは、対応は遅いかもしれないが、関係者は日々、Barracudaの運用を頑張っていることである。是非、スパムのない社会が早く実現して欲しいと願っただけである。

センタースタッフによる教育活動（平成 22 年度）

1. 学内担当科目等

授業科目等		開講時期	担当者	担当数/開講時限数, または担当%
主題科目	コンピュータと教育	前期（全学）	林敏浩	e-Learning による実施
工学部専門科目	計算機入門 I	1 年次後期（信頼）	林敏浩・最所圭三	15 コマ担当
工学部専門科目	計算機入門 II	2 年次前期（信頼）	林敏浩・最所圭三	15 コマ担当
工学部専門科目	ヒューマンインタフェース	2 年次後期（信頼）	垂水浩幸・安藤一秋・林敏浩	5 コマ担当
工学部専門科目	信頼性情報システム工学概論 III	3 年次前期（信頼）	オムニバス	1 コマ担当
工学部専門科目	人間感性工学（新カリ）	3 年次前期	垂水浩幸・安藤一秋・林敏浩	5 コマ担当
工学部専門科目	人間感性工学（旧カリ）	4 年次前期	林敏浩	15 コマ担当
農学部専門科目	IT 活用概論	2 年次後期	オムニバス	2 コマ担当
地域マネジメント研究科	地域 ICT・マネジメント	前期	オムニバス	1 コマ担当
工学研究科専門科目	情報工学論	後期	荒川雅生・林敏浩	7.5 コマ担当

2. 学外非常勤担当科目等

徳島大学大学開放実践センター公開講座

林敏浩

「パソコンを使わずゲームを通して、情報処理・コンピュータの仕組みを学ぼう！」

平成 22 年 8 月 16 日, 徳島大学（常三島キャンパス）

センタースタッフによる研究活動

センタースタッフおよび指導している学生にはアンダーラインが引いてあります。

1. 原著論文およびプロシーディング（査読あり）

- (1) Tarumi. H., Tsujimoto. Y., Daikoku. T., Kusunoki. F., Inagaki. S., Takenaka. M., and Hayashi. T.(2010). Balancing virtual and real interactions in mobile learning, International Journal on Mobile Learning and Organisation.
- (2) 藤田紀勝, 小野寺理文, 立石真也, 田邊喜一, 林敏浩, 山崎敏範(2010). 組込み Linux 技術者養成のための OS 組み立て実習システム, 教育システム情報学会誌, Vol.27, No.1, pp.21-28.
- (3) 山下直子, 畑ゆかり, 林敏浩, 垂水浩幸, 盧颯, 富永浩之, 山崎敏範(2010). 韓国人学習者に対するカタカナ語の指導の試みーカタカナ語彙指導をめざしてー, ICJLE2010 日本語教育国際研究大会.

2. 総説・著書

なし

3. 学会発表（招待講演や依頼講演はその旨，記入してください。）

- (1) 中野裕介 豊嶋克行, 垂水浩幸, 土井健司, 高橋恵一, 林敏浩(2010). twitter を用いた地方都市における商業クラスターの形成支援, 情報処理学会第 76 回グループウェアとネットワークサービス研究会.
- (2) 山本 航平, 澤田 誠, 垂水 浩幸, 平賀 裕基, 北岡 真弥, 高橋 哲也, 林 敏浩(2010). ネットワーク将棋感想戦支援システムのデータベースとユーザインタフェース, 情報処理学会第 17 回エンタテインメントコンピューティング研究会.
- (3) 間島聖仁, 林敏浩, 垂水浩幸, 仙田徹志(2010). データ修正議論支援を含む戦前農家経済調査デジタルアーカイブシステム, 平成 22 年度電気関係学会四国支部連合大会.
- (4) 藤澤修平, 裏和宏, 林敏浩, 垂水浩幸, 中山迅(2010). 動的な科学現象の理解を支援するアニメーション作成システムの開発, 平成 22 年度電気関係学会四国支部連合大会.

- (5) 荻田淳史, 中野裕介, 豊嶋克行, 河上寛, 石川博章, 垂水浩幸, 林敏浩 (2010). ICカードを用いた地域情報提供システムの提案, 平成22年度電気関係学会四国支部連合大会.
- (6) 豊嶋克行, 河上寛, 中野裕介, 垂水浩幸, 林敏浩 (2010). 非接触 IC カードを用いた Web アプリケーション開発支援システムの提案, 平成22年度電気関係学会四国支部連合大会.
- (7) 北岡真弥, 澤田誠, 平賀裕基, 山本航平, 高橋哲也, 垂水浩幸, 林敏浩 (2010). ネットワーク将棋感想戦支援システムの開発～人工知能の役割～, 平成22年度電気関係学会四国支部連合大会.
- (8) 山石忠弘, 林敏浩, 垂水浩幸 (2010). プログラムの振る舞いを踊りで表現する教育支援システムの開発, 平成22年度電気関係学会四国支部連合大会.
- (9) 中野裕介, 垂水浩幸, 林敏浩, 豊嶋克行, 河上寛 (2010). ソーシャルネットワーキングサービスにおけるローカル性, 平成22年度電気関係学会四国支部連合大会.
- (10) 澤田誠, 平賀裕基, 北岡真弥, 山本航平, 高橋哲也, 垂水浩幸, 林敏浩 (2010). ネットワーク将棋感想戦支援システムの開発～クライアントソフト～, 平成22年度電気関係学会四国支部連合大会.
- (11) 奥本大佑, 林敏浩, 垂水浩幸 (2010). 教員による投稿型自主学习素材共有システムの運用管理, 平成22年度電気関係学会四国支部連合大会.
- (12) 河上寛, 豊嶋克行, 中野裕介, 垂水浩幸, 林敏浩, 荻田淳史, 石川博章 (2010). 学生証を用いた掲示板検索システムの提案, 平成22年度電気関係学会四国支部連合大会.
- (13) 裏和宏, 藤澤修平, 林敏浩, 垂水浩幸, 中山迅 (2010). 描画法を用いた理科教育支援システムの現場ニーズに合わせたカスタマイズ手法, 平成22年度電気関係学会四国支部連合大会.
- (14) 高橋哲也, 澤田誠, 平賀裕基, 山本航平, 北岡真弥, 垂水浩幸, 林敏浩 (2010). ネットワーク将棋感想戦支援システムの開発～サーバ設計～, 平成22年度電気関係学会四国支部連合大会.
- (15) 寺山友貴, 林敏浩, 垂水浩幸, 盧颯, 富永浩之, 山下直子, 山崎敏範 (2010). 多様な漢字学習システムからなる外国人向け漢字学習環境の設計と開発, 平成22年度電気関係学会四国支部連合大会.
- (16) 和泉俊彦, 中野裕介, 垂水浩幸, 林敏浩 (2010). スポーツ選手とファンとの間のウェアネス拡張の試み, 平成22年度電気関係学会四国支部連合大会.
- (17) 垂水浩幸, 和泉俊彦, 中野裕介, 林敏浩 (2010). エンタテイナーとファンの間のウェアネス強化についての検討, 情報処理学会エンタテインメントコンピューティング 2010 シンポジウム.
- (18) 高橋哲也, 垂水浩幸, 澤田誠, 山本航平, 北岡真弥, 平賀裕基, 林敏浩 (2010).

ネットワーク将棋感想戦支援システムの設計, 第 15 回ゲーム・プログラミングワークショップ.

- (19) 山石忠弘, 林敏浩, 垂水浩幸 (2010). 踊るプログラム, ゲーム学会第 9 会全国大会.
- (20) 北岡真弥, 山本航平, 澤田誠, 高橋哲也, 平賀裕基, 垂水浩幸, 林敏浩 (2010). ネットワーク将棋感想戦支援システム～人工知能によるデータベースの成長～, ゲーム学会第 9 会全国大会
- (21) 山石忠弘, 林敏浩, 垂水浩幸 (2010). 踊りによるプログラム処理の表現方法, 情報処理学会コンピュータと教育研究会
- (22) 林敏浩, 垂水浩幸, 盧颯, 富永浩之, 山下直子, 山崎敏範 (2010). 多様な漢字学習システムを利用できるための学習環境の設計と開発, 教育システム情報学会第 35 回全国大会.
- (23) 林敏浩, 垂水浩幸, 盧颯, 富永浩之, 山下直子, 山崎敏範 (2010). 統合型漢字学習環境におけるロールに基づく支援機能, 情報処理学会研究報告 2010-CE-106, pp. 1-7.
- (24) 林敏浩, 垂水浩幸, 盧颯, 富永浩之, 山下直子, 山崎敏範 (2011). 統合型漢字学習環境の開発 ～ 漢字学習ポータルにおける学習支援機能 ～, 電子情報通信学会教育工学研究会, ET2010-10, pp. 103-106.

4. その他 (特許, 学会賞等)

なし

平成 22 年 3 月～平成 23 年 2 月

業務を総合評価のテリトリに基づき次の 4 項目について自己申告ベースで記載する

■教育

1) 併任先での教育 (担当)

○授業

工学部：

オペレーティングシステム (後期, 火, 4 校時, 工学部 2 年生担当科目)

計算機アーキテクチャ (前期, 水, 4 校時, 工学部 3 年生担当科目)

情報処理演習 (夏季集中, 工学部 1, 2 年生担当科目)

工学研究科：

信頼性ビジュアルライゼーション (前期, 水, 1 校時, 大学院生担当科目)

○卒論・修論の指導

研究室：修士課程 2 年生(2 名), 学部 4 年生(3 名), 学部 3 年生(3 名)

○CA(工学部キャンパスアドバイザー)

2009 年度入学生 22 名, 2004 年度入学生 2 名

2) 特別講師等

○地域マネージメント研究科からの依頼講義「地域 ICT マネジメント(5 月 25 日講義実施)」

○香川県立津田高校の工学部訪問(6 月 14 日(月)13:00～14:30)での今井研究室の紹介

○Google クラウドセミナー高松(6 月 18 日)でのパネルディスカッションのモデレータ

<https://sites.google.com/a/cloudstudymeeting.com/takamatsu/>

○IPA(情報処理推進機構)「未踏説明会」@香川大学(7 月 12 日)での進行

<http://stwww.eng.kagawa-u.ac.jp/~imai/H22IPA/index.html>

○香川県警察本部警務部 (情報管理課) 依頼の「警察官及び事務職員 18 名を対象とした講義依頼」を受けての特別講義(12 月 2 日) 講義題目「インターネットとセキュリティ」

○仲田雄作氏(IPA 理事)特別講義「日本のソフト産業の課題と展望」(12 月 3 日)に関する
司会・評価

3) F D 活動

○信頼性情報システム工学科授業公開 (日時：12 月 15 日(水)10:30-12:00, 場所：1607 講義室, 科目名「計算機アーキテクチャ」 担当：今井

http://stwww.eng.kagawa-u.ac.jp/~imai/H22ComputerArchitecture/questionnaire_survey.html

■研究

1) 査読付き論文

- "Design of a Multiple-server System for Cooperative Learning and Emergency Communication,"
Yoshio Moritoh, Yoshiro Imai, Hitoshi Inomo, Shigeaki Ogose, Tetsuo Hattori, Wataru Shiraki:
Proc. of the 7th IADIS Int'l Conf. Applied Computing 2010(AP2010@Timisoara, 査読有), Vol.1, pp.209-214, Oct. 2010.
- "Parallel Programming for Education and its Trial Evaluation,"
Keiichi Shiraishi, Yoshiro Imai, Yukio Hori:
Proc. of the 9th IADIS Int'l Conf. WWW/Internet 2010(ICWI2010@Timisoara, 査読有), Vol.1, pp.257-261, Oct. 2010.
- "A Trial Evaluation of Distributed Campus Network Environment Based on Comparison of Theoretical and Real Performance of Packet Flow Amount Using Video Transmission System,"
Yoshiro Imai, Yukio Hori, Kazuyoshi Kawauchi, Mayumi Kondo, Toshikazu Sone, Yoshitaka Seno, Nobue Kawada, Shinobu Tada, Miho Yokoyama, and Rieko Miki:
F. Zavoral et al.(Eds.): Proceedings of NDT 2010(NDT2010@Prague, 査読有), Part II, CCIS 88, pp.152-161 July 2010.
(CCIS: "<http://springerlink.metapress.com/content/v4rn32/>" Springer-Verlag Berlin Heidelberg 2010)
- "A Web-based Surveillance System for Traffic Behavior and its Application for Practical Recommendation of Crosswalk Installation,"
Yoshiro Imai, Yukio Hori, Shin'ichi Masuda:
JOURNAL OF DIGITAL INFORMATION MANAGEMENT, Vol.8, No.2, pp.101-107 April 2010. -- ジャーナル査読
- "An Annual Evaluation of Visual Computer Simulator and its Perspective in Cooperative Education Environment,"
Yoshiro Imai, Yoshio Moritoh, Yukio Hori, Shin'ichi Masuda:
Proc. of the 7th IADIS Int'l Conf. e-Society 2010(e-Society2010@Porto, 査読有), Vol.1, pp.51-58, Mar. 2010.

2) 研究会等での発表

- 「学生証 IC カードとキャンパス LAN を活用した健康教育支援システムの概要と設計方針 , 今井慈郎・宮崎英一・鎌野 寛・堀 幸雄・森 知美・高井忠昌 (香川大) :
情報処理学会 コンピュータと教育研究会(査読無) Vol.2010-CE-107 No.3 pp.1-8 Nov.

2010.

3) 学生等による発表 (共著者での発表分)

- 「画素ズレ検出に関する補間法の適用と数値解析教育の効果」,

川崎博和・今井慈郎 (香川大)・岩本 裕・増田眞一 (シーマイクロ) :

情報処理学会 コンピュータと教育研究会(査読無) Vol.2010-CE-107 No.2 pp.1-6 Nov.

2010.

- 「分散型情報サーバ環境におけるシンクライアントシステムの利用と課題」,

森藤義雄 (香川短大)・今井慈郎 (香川大) :

情報処理学会 コンピュータと教育研究会(査読無) Vol.2010-CE-103 No.14 pp. 1 -8 Mar.

2010.

■ 社会貢献

1) 学会活動

特になし

2) 国際会議運営委員

国際会議 The International Conference on Digital Information Processing and Communications(ICDIPC2011 in VSB-Technical University of Ostrava, Czech Republic, July 7-9)の Program Committees(General co-Chairs)に選出(以下の URL に掲載)

http://www.sdiwc.net/public/cz/public/Program_Committees.php

国際会議 The International Conference on Digital Information and Communication Technology and its Applications(DICTAP2011 in Universite de Bourgogne, France, June 21-23)の Program Committees(Program Chairs)に選出(以下の URL に掲載)

http://www.sdiwc.net/fr/Program_Committees.php

国際会議 The 5th International Conference on Information Technology(ICIT2011 in AL-Zaytoonah University of Jordan/Amman May 11-13)の International Program Committee に選出(以下の URL に掲載)

http://www.alzaytoonah.edu.jo/ICIT/pages/International_Program_Committee.aspx

国際会議 The 1st International Conference on Cloud Computing and Services Science(CLOSER2011 in Noordwijkerhout, The Netherlands, May 7-9) の International Program Committee に選出(以下の URL に掲載)

http://closer.scitevents.org/program_committee.asp

国際会議 The Seventh International Conference on Autonomic and Autonomous Systems(ICAS 2011 May 22-27, 2011 - Venice, Italy)の ICAS 2011 Technical Program

Committee に連続して選出(以下の URL に掲載)

<http://www.iaria.org/conferences2011/ComICAS11.html>

国際会議 The 2010 International Conference on Future Generation Communication and Networking 併設 Workshop"Network Security and Soft Computing Technologies(Jeju, Korea, December 13-15, 2010)"の Program Committee に選出(以下の URL に掲載)

<http://www.sersc.org/FGCN2010/NSSCT%202010.pdf>

3) JGN関係

総務省(情報通信研究機構 NiCT)の JapanGigaNetwork2plus 四国連絡協議会利用推進部会メンバー

JGN 2 plus 四国連絡協議会総会・記念講演会(6月2日, 高知会館)への参加

JGN 2 plus 四国連絡協議会セミナーin 高松(9月29日)の開催(総合情報センター後援)

JGN 2 plus 四国連絡協議会セミナーin 松山(12月22日, 愛媛大学)への参加

■運営

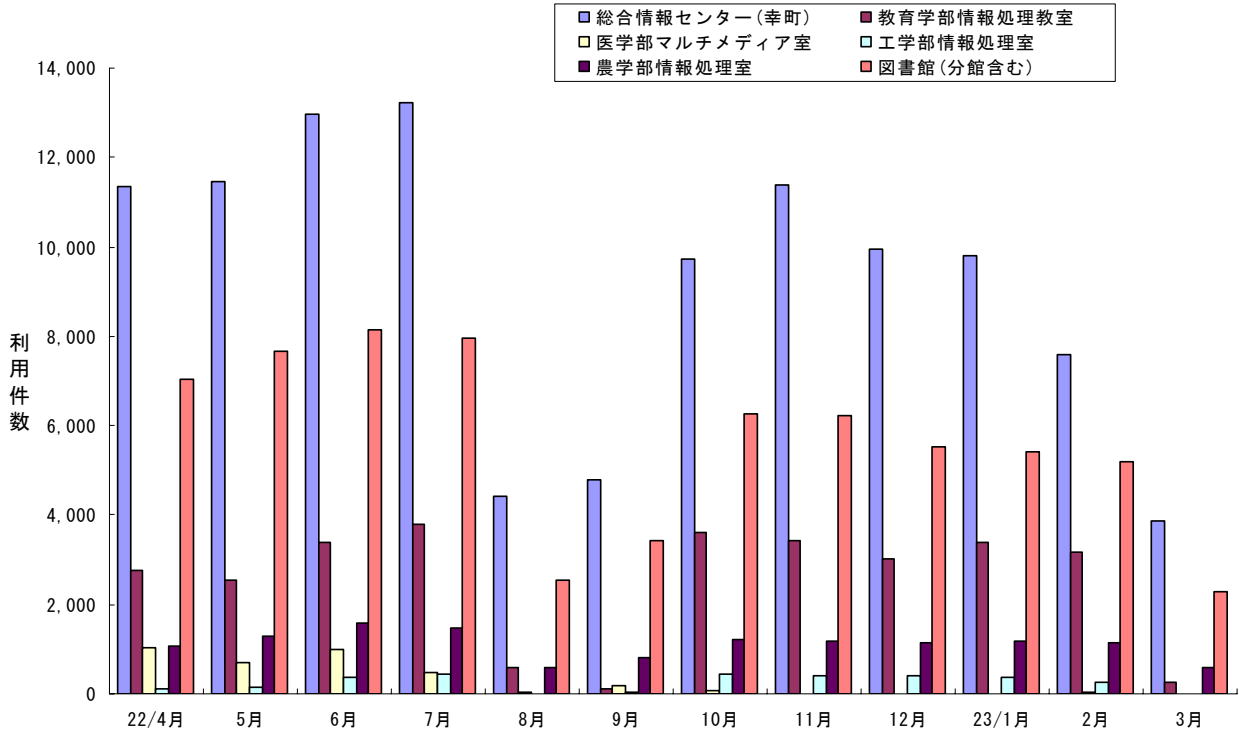
総合情報センター教員として活動し, 一員としてその運営を支援

業務報告

平成22年度パソコン室利用統計

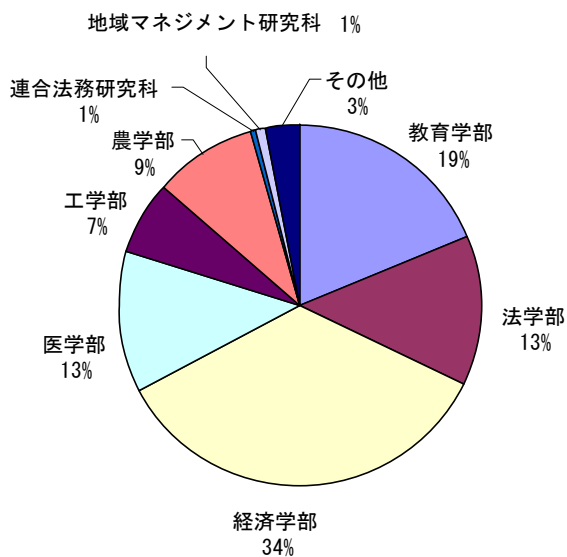
・月別利用件数(設置部局別)

平成22年度パソコン室利用状況

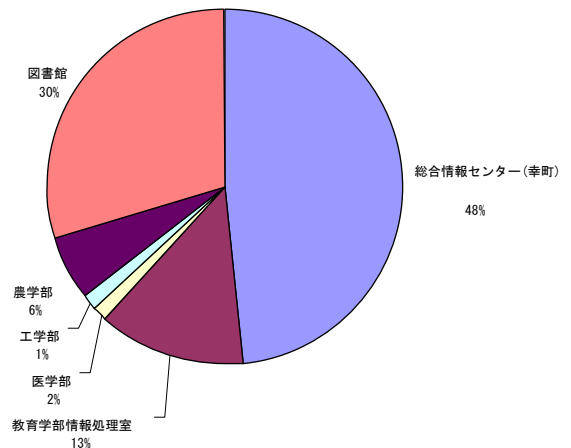


・部局・部屋別利用率(利用件数)

利用者部局別



部屋設置部局別



○総合情報センター(幸町)

利用件数

学 部	22/4	5	6	7	8	9	10	11	12	23/1	2	3	計
教育学部	709	817	1,131	994	804	1,230	777	801	718	818	850	463	10,112
法学部	2,594	2,057	2,260	2,619	1,057	958	2,791	2,665	2,461	2,180	1,768	1,073	24,483
経済学部	6,984	7,704	8,526	8,503	2,118	1,896	5,539	7,370	6,255	6,307	4,495	1,888	67,585
医学部	68	77	98	63	21	42	69	48	33	48	45	40	652
工学部	248	177	177	246	148	143	158	137	128	107	137	128	1,934
農学部	311	246	276	308	130	151	191	151	171	184	181	128	2,428
連合法務	206	110	145	100	47	105	97	82	83	61	46	53	1,135
地域マネ	122	78	189	211	83	102	91	84	67	75	45	48	1,195
その他	92	179	179	168	24	165	21	29	35	25	7	31	955
計	11,334	11,445	12,981	13,212	4,432	4,792	9,734	11,367	9,951	9,805	7,574	3,852	110,479

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

延べ利用時間(分)

学 部	22/4	5	6	7	8	9	10	11	12	23/1	2	3	計
教育学部	61,567	87,250	120,929	119,311	82,113	131,703	73,026	75,899	79,523	111,270	100,007	41,723	1,084,321
法学部	136,461	164,295	167,745	248,986	114,050	103,372	209,658	221,965	210,592	211,854	217,621	111,693	2,118,292
経済学部	453,939	557,369	660,390	811,383	222,374	211,654	436,210	684,320	635,027	688,483	589,019	204,762	6,154,931
医学部	3,512	8,315	10,221	7,726	3,887	5,417	8,389	7,800	8,949	12,906	11,731	4,293	93,147
工学部	12,184	12,135	13,014	25,301	12,576	9,747	11,919	11,145	10,931	10,489	17,974	10,435	157,848
農学部	21,835	24,637	28,345	33,764	12,196	11,559	12,408	16,863	18,868	18,814	20,297	10,365	229,952
連合法務	7,410	3,165	7,470	4,391	2,367	4,946	3,557	2,671	3,489	2,003	1,362	1,716	44,546
地域マネ	7,997	3,672	21,618	24,050	10,984	9,494	8,865	7,506	4,307	5,226	2,245	4,679	110,642
その他	6,302	11,765	13,547	8,006	1,128	3,096	1,051	1,700	1,784	1,176	401	461	50,415
計	711,205	872,603	1,043,279	1,282,919	461,675	490,987	765,082	1,029,868	973,470	1,062,223	960,656	390,125	10,044,093

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

○教育学部情報処理室

利用件数

学 部	22/4	5	6	7	8	9	10	11	12	23/1	2	3	計
教育学部	2543	2,221	3,069	3288	488	0	3,296	3,110	2,672	2,911	2,913	196	26,707
法学部	24	31	21	49	2	0	40	46	63	82	57	1	416
経済学部	86	158	174	272	44	0	113	173	193	183	95	10	1,501
医学部	4	15	21	16	0	0	32	17	11	18	6	0	140
工学部	33	29	28	64	1	0	23	11	9	7	11	2	218
農学部	55	63	49	58	7	0	24	6	14	25	11	4	316
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	23	24	41	62	58	111	98	78	77	170	82	60	884
計	2,768	2,541	3,403	3,809	600	111	3,626	3,441	3,039	3,396	3,175	273	30,182

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

延べ利用時間(分)

学 部	22/4	5	6	7	8	9	10	11	12	23/1	2	3	計
教育学部	108,71	131,801	191,90	251,842	45,526	0	165,826	199,003	182,798	205,646	260,865	13,358	1,757,289
法学部	1,034	2,464	1,458	6,636	230	0	1,814	2,628	4,968	5,513	5,483	95	32,323
経済学部	5,774	11,902	12,742	23,505	6,708	0	6,486	13,150	15,277	10,912	7,420	733	114,610
医学部	102	600	787	651	0	0	1,235	584	565	668	437	0	5,629
工学部	1,484	1,019	1,328	2,810	33	0	951	510	198	80	280	211	8,905
農学部	1,640	2,790	2,709	4,341	464	0	431	138	734	583	739	334	14,902
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,247	1,565	2,395	6,199	3,380	13,764	7,504	8,143	5,568	7,837	6,266	4,565	68,435
計	119,99	152,139	213,32	295,984	56,341	13,764	184,246	224,156	210,109	231,239	281,492	19,297	2,002,092

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

○医学部

利用件数

学 部	22/4	5	6	7	8	9	10	11	12	23/1	2	3	計
教育学部	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
法学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学部	897	584	920	462	13	157	61	3	0	0	28	0	3,125
工学部	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
農学部	2	3	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	117	104	83	21	7	42	7	9	0	0	16	1	407
計	1,019	692	1,010	484	20	199	68	12	0	0	44	1	3,549

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

延べ利用時間(分)

学 部	22/4	5	6	7	8	9	10	11	12	23/1	2	3	計
教育学部	154	74	86	0	0	0	0	0	0	0	0	0	314
法学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学部	106,21	68,673	106,689	54,383	1,499	26,684	6,773	132	0	0	3,620	0	374,665
工学部	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
農学部	159	226	415	86	0	0	0	0	0	0	0	0	886
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	17,653	11,496	8,798	2,363	413.25	4,984	37	223	0	0	741	10	46,718
計	124,17	80,469	115,990	56,832	1,913	31,667	6,810	355	0	0	4,361	10	422,584

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

○工学部演習室

利用件数

学 部	22/4	5	6	7	8	9	10	11	12	23/1	2	3	計
教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工学部	103	160	360	430	15	1	400	389	390	359	251	2	2,860
農学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	8	3	14	13	0	26	47	10	11	9	9	11	161
計	111	163	374	443	15	27	447	399	401	368	260	13	3,021

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

延べ利用時間(分)

学 部	22/4	5	6	7	8	9	10	11	12	23/1	2	3	計
教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工学部	5,588	9,868	21,347	44,558	735	37	55,359	60,817	50,888	46,260	37,810	11	333,277
農学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	276	381	1,121	1,654	0	368	3,100	1,927	1,160	652	891	222	11,752
計	5,864	10,250	22,468	46,213	735	404	58,460	62,744	52,048	46,911	38,701	233	345,029

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

○農学部情報処理室

利用件数

学 部	22/4	5	6	7	8	9	10	11	12	23/1	2	3	計
教育学部	0	2	3	2	2	3	0	0	0	1	1	2	16
法学部	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	2	5
経済学部	0	0	0	1	1	1	0	4	2	3	3	1	16
医学部	0	3	1	1	4	5	5	10	28	37	13	1	108
工学部	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
農学部	925	1119	1484	1337	485	637	1,019	1,026	970	1,002	994	446	11,444
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	145	167	113	137	105	152	181	146	149	142	142	149	1,728
計	1,071	1,291	1,601	1,479	597	799	1,205	1,187	1,149	1,186	1,153	601	13,319

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

延べ利用時間(分)

学 部	22/4	5	6	7	8	9	10	11	12	23/1	2	3	計
教育学部	0	74	370	184	296	279	0	0	0	90	1	338	1,632
法学部	0	0	0	123	0	10	0	0	0	120	0	139	392
経済学部	0	0	0	126	181	97	0	436	241	247	144	18	1,490
医学部	0	257	72	124	383	867	457	880	1,328	3,445	3,069	118	11,001
工学部	114	0	0	0	0	0	0	168	0	0	0	0	283
農学部	54,373	72,400	102,174	103,018	51,238	49,734	63,573	68,999	62,580	74,428	99,420	34,348	836,287
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	7,832	15,547	11,502	16,326	17,786	28,496	26,104	22,024	23,413	19,292	30,175	34,650	253,148
計	62,319	88,279	114,117	119,902	69,884	79,484	90,135	92,509	87,563	97,622	132,809	69,611	1,104,234

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

○図書館(分館含む)

利用件数

学 部	22/4	5	6	7	8	9	10	11	12	23/1	2	3	計
教育学部	586	686	758	875	316	145	483	493	442	551	607	210	6,152
法学部	483	463	616	672	295	217	572	586	516	583	485	189	5,677
経済学部	911	1,029	1,218	1,475	413	354	868	1,094	963	1,026	900	315	10,566
医学部	2,386	3,085	3,020	2,547	813	2,146	2,111	2,127	1,926	1,843	1,722	1,008	24,734
工学部	1,533	1,168	1,297	1,125	283	123	1,153	1,020	848	690	794	165	10,199
農学部	735	782	851	915	187	214	675	597	580	520	463	146	6,665
連合法務	41	28	35	45	32	17	9	13	16	19	14	27	296
地域マネ	29	41	51	46	22	32	34	27	13	13	13	0	321
その他	345	364	285	266	184	191	352	251	227	188	206	216	3,075
計	7,049	7,646	8,131	7,966	2,545	3,439	6,257	6,208	5,531	5,433	5,204	2,276	67,685

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

延べ利用時間(分)

学 部	22/4	5	6	7	8	9	10	11	12	23/1	2	3	計
教育学部	28,754	37,054	48,403	69,043	30,498	13,490	30,548	35,224	32,041	53,633	58,995	18,363	456,045
法学部	24,947	30,359	50,336	58,056	30,612	20,372	43,854	51,451	52,937	62,706	44,893	15,006	485,528
経済学部	51,508	59,467	83,310	104,759	41,415	34,081	65,046	91,236	85,560	103,929	72,306	21,126	813,743
医学部	168,90	274,96	259,977	218,167	108,280	196,683	169,329	191,141	185,987	176,929	168,632	89,240	2,208,231
工学部	41,526	41,090	49,296	38,319	9,798	3,695	32,409	33,252	28,593	22,334	27,167	8,234	335,712
農学部	24,193	35,215	41,392	40,618	13,286	11,763	26,988	31,666	32,159	25,799	30,404	7,697	321,180
連合法務	1,905	551	1,261	869	1,649	551	148	415	397	543	471	521	9,281
地域マネ	1,473	3,517	4,054	3,252	2,587	2,024	2,399	1,987	461	1,209	1,089	0	24,052
その他	29,133	26,877	20,543	18,132	11,850	10,439	28,998	16,505	12,722	13,689	11,436	13,596	213,920
計	372,34	509,09	558,571	551,214	249,976	293,098	399,717	452,877	430,857	460,771	415,395	173,782	4,867,693

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

平成22年度総合情報センターPC利用実績

PCルーム1・2・3

		月	火	水	木	金
8:50 I	前		統計学A		情報処理	
	後					
10:20 II	前		調査データ分析 知識処理			
	後		データベース			マルチメディア処理
12:00 III	前			情報処理基礎		
	後					教養ゼミナール
14:30 IV	前	演習	演習		演習	情報処理基礎
	後		プログラミング		応用計量経済学	
16:10 V	前	情報処理基礎	情報処理基礎 プロゼミ	情報処理基礎	プロゼミナール	演習
	後		法とコンピュータ プロゼミ 演習		統計学II	演習
17:50 VI	前		情報システム		GSM統計分析 情報処理基礎	
	後				GSM都市開発論	
19:30 VII	前		情報システム 経済統計		GSM統計分析 情報処理基礎	
	後				GSM都市開発論	
備考		集中：法学部情報ガイダンス、地域マネジメントガイダンス、法律情報処理、論文作成補ゼミ 公開講座：情報コミュニケーション論				

注：この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

平成22年度総合情報センターPC利用実績

教育学部情報処理教室(421教室・431教室)

		月	火	水	木	金
8:50 I	前				情報メディアの活用	技術科授業研究
	後			マルチメディア・リテラシー(ホ)		
10:20						
10:30 II	前			マルチメディア・リテラシー(ロ)		
	後					
12:00						
13:00 III	前					
	後					教養ゼミ
14:30						
14:40 IV	前					
	後	計算機基礎 人間環境教育実践研究 I	マルチメディア・リテラシー(ニ)		マルチメディア・リテラシー(ハ)	英語音声学 II
16:10						
16:20 V	前	人間環境教育実践研究入門 心理学実験 I	マルチメディア・リテラシー(イ)			
	後	マルチメディア・リテラシー(ハ)	心理学実験 II			
17:50						
18:00 VI	前					
	後					
19:30						
19:40 VII	前					
	後					
21:10						
備考	集中講義：教員免許状更新講習、英作文、学校図書館司書講習					

注：この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

平成22年度総合情報センターPC利用実績

農学部情報処理室

		月	火	水	木	金
8:50 I	前					
	後					
10:30 II	前					課題研究
	後					専門英語
13:00 III	前					
	後					
14:40 IV	前					
	後					
16:20 V	前					
	後					
18:00 VI	前					
	後					
19:40 VII	前					
	後					
備考		講習会：Web of Science利用者講習会、図書館資料検索ガイダンス				

注：この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

平成22年度総合情報センターPC利用実績

工学部演習室（4301）

		月	火	水	木	金
8:50 I	前			プログラミングⅠ		空間情報工学
	後		環境情報解析学	プログラミングⅡ		
10:20						
10:30 II	前		計算機材料設計	プログラミングⅠ		
	後			プログラミングⅡ		
12:00						
13:00 III	前		電子情報通信実験Ⅰ		環境工学論	
	後		3次元CAD	プログラミングⅡ	データ構造とアルゴリズム	
14:30						
14:40 IV	前		電子情報通信実験Ⅰ			材料創造工学実験Ⅱ
	後		3次元CAD	プログラミングⅡ	アルゴリズム演習	
16:10						
16:20 V	前			プログラミングⅡ	プログラミングⅡ	材料創造工学実験Ⅱ
	後		3次元CAD		アルゴリズム演習	
17:50						
18:00 VI	前					材料創造工学実験Ⅱ
	後					
19:30						
19:40 VII	前					
	後					
21:10						
備考		講習会：Web of Science利用者講習会				

注：この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

平成22年度総合情報センターPC利用実績

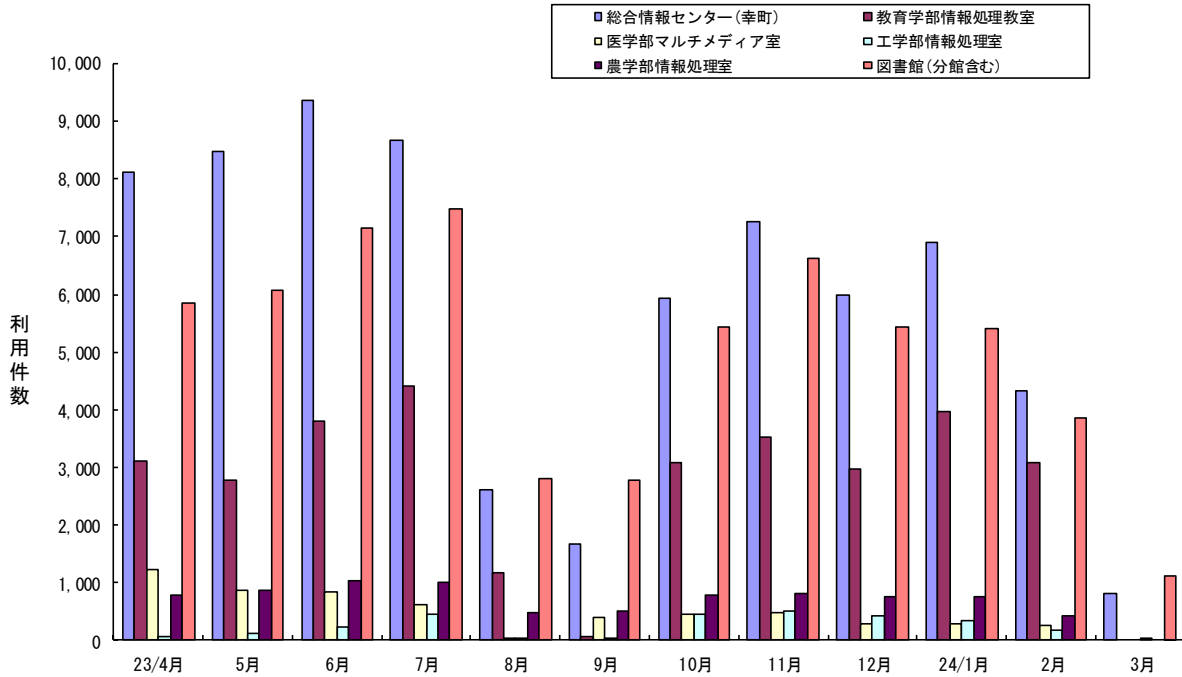
医学部マルチメディア実習室

		月	火	水	木	金
8:50 I	前			教養ゼミナール		
	後					
10:20 II	前		保健統計論			
	後					
12:00 III	前		疫学			看護研究 I
	後					
14:30 IV	前		情報科学実習	情報科学A		
	後					
16:10 V	前		情報科学実習			
	後					
17:50 VI	前					
	後					
19:30 VII	前					
	後					
備考		大学院講義, 医療管理学, 疫学実習, 地域看護学, CBT				

注：この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

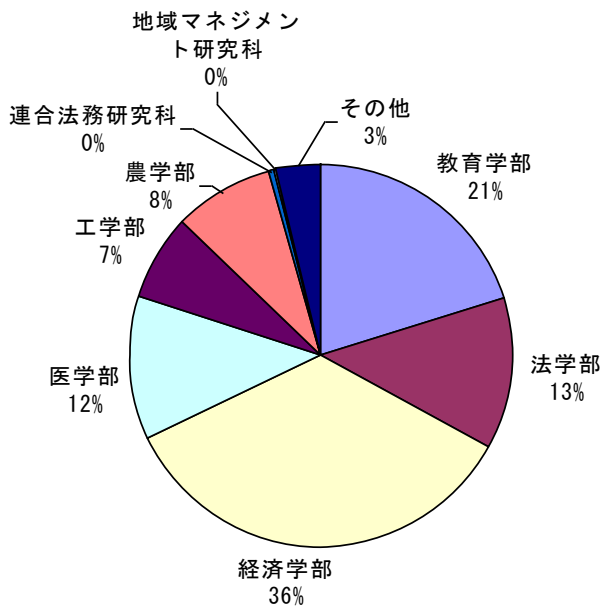
平成23年度パソコン室利用統計

・月別利用件数(設置部局別)

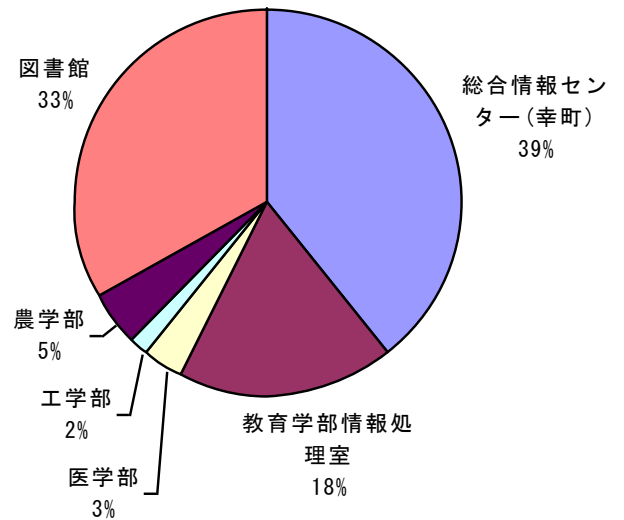


・部局・部屋別利用率(利用件数)

利用者部局別



部屋設置部局別



○総合情報センター(幸町)

利用件数

学 部	23/4	5	6	7	8	9	10	11	12	24/1	2	3	計
教育学部	223	120	159	140	210	125	144	133	128	179	120	85	1,766
法学部	2,013	2,040	1,931	2,152	633	426	1,439	1,417	1,163	1,298	1,051	188	15,751
経済学部	5,343	5,906	6,797	5,950	1,625	956	4,104	5,474	4,484	5,219	2,978	381	49,217
医学部	20	14	6	17	3	12	1	5	0	3	3	1	85
工学部	75	58	57	54	36	40	43	39	37	49	37	16	541
農学部	145	75	54	119	41	45	44	37	48	51	57	98	814
連合法務	104	78	95	70	24	23	60	55	46	44	25	6	630
地域マネ	77	49	97	131	25	20	39	40	21	19	9	14	541
その他	113	133	176	49	6	30	70	60	59	40	41	34	811
計	8,113	8,473	9,372	8,682	2,603	1,677	5,944	7,260	5,986	6,902	4,321	823	70,156

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

延べ利用時間(分)

学 部	23/4	5	6	7	8	9	10	11	12	24/1	2	3	計
教育学部	14,511	7,974	11,191	10,177	14,798	8,213	12,235	12,924	11,962	18,507	14,357	9,638	146,487
法学部	113,46	135,37	118,096	140,115	47,057	31,011	76,909	84,582	75,607	99,078	73,847	13,471	1,008,611
経済学部	332,85	398,94	499,434	460,770	145,549	79,341	272,965	395,023	378,17	506,022	306,925	38,046	3,814,048
医学部	562	562	172	864	265	618	66	147	0	294	74	29	3,653
工学部	3,336	3,216	1,821	2,491	1,929	2,617	2,388	2,283	2,399	3,983	2,315	1,120	29,898
農学部	6,454	3,140	2,526	9,061	3,330	2,511	919	1,730	2,403	3,638	2,343	2,381	40,436
連合法務	3,531	2,973	5,069	4,329	1,367	1,007	1,904	1,643	1,165	1,864	1,337	297	26,486
地域マネ	6,207	3,517	17,175	23,100	2,703	2,130	4,125	5,210	1,759	2,051	462	1,345	69,784
その他	6,063	6,917	17,625	4,445	273	209	3,787	3,655	3,314	2,713	2,139	809	51,949
計	486,98	562,61	673,109	655,352	217,271	127,657	375,298	507,197	476,77	638,150	403,799	67,136	5,191,352

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

○教育学部情報処理室

利用件数

学 部	23/4	5	6	7	8	9	10	11	12	24/1	2	3	計
教育学部	2661	2,357	3,167	3615	1,015	0	2,776	3,153	2,632	3,483	2,697	0	27,556
法学部	29	32	58	77	16	0	11	27	22	53	32	0	357
経済学部	180	210	252	319	22	0	163	189	196	261	181	0	1,973
医学部	57	52	127	90	5	0	26	28	29	40	12	0	466
工学部	45	25	61	74	11	0	5	8	2	8	3	0	242
農学部	67	39	69	85	21	0	17	13	10	35	23	0	379
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	77	72	79	146	90	72	96	102	93	80	138	0	1,045
計	3,116	2,787	3,813	4,406	1,180	72	3,094	3,520	2,984	3,960	3,086	0	32,018

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

延べ利用時間(分)

学 部	23/4	5	6	7	8	9	10	11	12	24/1	2	3	計
教育学部	120,88	141,848	192,62	231,779	69,151	0	145,304	198,359	169,294	234,007	207,197	0	1,710,450
法学部	1,390	2,865	5,037	6,436	1,832	0	362	2,902	2,326	3,003	2,401	0	28,554
経済学部	12,158	17,388	18,013	21,083	1,659	0	11,331	12,131	13,423	18,513	15,070	0	140,769
医学部	2,686	3,368	7,471	5,700	91	0	810	1,336	1,597	2,280	449	0	25,788
工学部	1,724	1,848	3,894	6,212	723	0	179	83	105	211	71	0	15,050
農学部	3,463	1,747	4,799	4,710	1,428	0	944	1,054	698	2,593	1,130	0	22,566
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	8,865	6,931	6,549	18,798	11,177	7,265	7,732	10,165	8,901	7,129	6,661	0	100,173
計	151,17	175,995	238,39	294,718	86,061	7,265	166,662	226,030	196,344	267,736	232,979	0	2,043,350

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

○医学部

利用件数

学 部	23/4	5	6	7	8	9	10	11	12	24/1	2	3	計
教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学部	1124	770	804	597	24	264	435	449	239	221	259	0	5,186
工学部	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
農学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	95	96	39	28	16	137	22	38	35	75	2	0	583
計	1,219	867	843	625	40	401	457	488	274	296	261	0	5,771

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

延べ利用時間(分)

学 部	23/4	5	6	7	8	9	10	11	12	24/1	2	3	計
教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学部	135,88	97,924	73,232	63,414	1,620	35,435	34,000	35,772	18,489	19,818	42,314	0	557,898
工学部	0	29	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	30
農学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	11,129	10,945	5,134	3,954	1,690	10,187	850	874	2,633	10,048	155	0	57,599
計	147,00	108,89	78,366	67,368	3,310	45,622	34,850	36,647	21,122	29,866	42,469	0	615,527

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

○工学部演習室

利用件数

学 部	23/4	5	6	7	8	9	10	11	12	24/1	2	3	計
教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工学部	74	105	218	436	33	8	445	504	407	332	168	0	2,730
農学部	0	0	0	0	0	0	0	4	3	3	1	0	11
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	5	6	7	8	1	11	19	12	8	8	7	3	95
計	79	111	225	444	34	19	464	520	418	343	176	3	2,836

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

延べ利用時間(分)

学 部	23/4	5	6	7	8	9	10	11	12	24/1	2	3	計
教育学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工学部	1,725	6,229	14,426	49,803	1,780	769	67,289	78,113	52,037	59,441	19,319	0	350,931
農学部	0	0	0	0	0	0	0	403	329	304	97	0	1,133
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	78	287	471	745	25	700	2,058	1,231	692	387	584	5	7,263
計	1,803	6,516	14,897	50,548	1,805	1,469	69,347	79,747	53,058	60,132	20,000	5	359,327

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

○農学部情報処理室

利用件数

学 部	23/4	5	6	7	8	9	10	11	12	24/1	2	3	計
教育学部	6	4	3	3	2	2	5	3	2	4	6	0	40
法学部	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	1	0	5
経済学部	0	0	0	1	0	0	6	1	2	0	1	0	11
医学部	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
工学部	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
農学部	617	687	870	829	352	377	745	764	676	671	371	0	6,959
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	172	178	170	171	119	138	39	40	72	69	33	0	1,201
計	795	872	1,043	1,007	475	518	795	809	752	744	412	0	8,222

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

延べ利用時間(分)

学 部	23/4	5	6	7	8	9	10	11	12	24/1	2	3	計
教育学部	1,128	747	895	628	633	63	1,052	506	382	1,472	1,665	0	9,171
法学部	0	0	0	531	73	0	0	116	0	0	288	0	1,008
経済学部	0	0	0	4	0	0	787	40	345	0	50	0	1,226
医学部	0	217	0	90	6	0	0	0	0	0	0	0	313
工学部	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	15
農学部	34,866	38,378	53,829	52,620	23,503	26,869	38,483	53,981	41,788	49,905	32,712	0	446,934
連合法務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域マネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	31,457	32,762	28,447	26,441	21,455	20,395	3,081	3,691	9,134	8,613	4,691	0	190,167
計	67,451	72,104	83,171	80,314	45,670	47,342	43,403	58,334	51,649	59,990	39,406	0	648,834

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

○図書館(分館含む)

利用件数

学 部	23/4	5	6	7	8	9	10	11	12	24/1	2	3	計
教育学部	595	680	749	918	436	226	576	727	513	653	486	299	6,858
法学部	492	611	837	1,028	419	276	679	810	693	692	462	230	7,229
経済学部	896	994	1,021	1,130	403	267	959	1,343	1,130	1,247	1,008	443	10,841
医学部	1,807	1,697	2,202	1,803	598	1,489	1,362	1,589	1,381	1,191	929	3	16,051
工学部	1,164	1,099	1,262	1,273	468	160	918	1,060	788	721	475	27	9,415
農学部	608	692	816	1,048	263	158	646	799	681	669	347	30	6,757
連合法務	39	24	10	13	1	3	23	28	28	16	10	8	203
地域マネ	7	4	8	3	0	2	24	20	29	16	7	3	123
その他	245	283	241	266	227	189	242	246	204	213	129	82	2,567
計	5,853	6,084	7,146	7,482	2,815	2,770	5,429	6,622	5,447	5,418	3,853	1,125	60,044

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

延べ利用時間(分)

学 部	23/4	5	6	7	8	9	10	11	12	24/1	2	3	計
教育学部	34,057	47,696	56,686	74,359	36,350	18,724	33,620	52,351	39,902	62,088	48,142	29,905	533,880
法学部	34,976	46,558	68,445	96,241	36,742	21,979	52,744	58,120	56,745	58,958	34,579	30,276	596,363
経済学部	53,731	65,190	69,227	84,110	30,883	21,133	66,802	99,493	98,847	115,076	102,120	52,742	859,354
医学部	145,60	141,57	166,689	151,319	64,121	138,101	140,185	146,720	141,967	117,813	98,365	77	1,452,532
工学部	36,744	37,857	39,921	40,355	15,087	5,573	25,479	29,284	24,266	23,564	13,726	860	292,716
農学部	19,882	28,218	37,792	50,001	12,488	7,368	23,590	35,011	25,167	35,787	16,935	2,193	294,432
連合法務	1,303	786	157	454	9	52	696	1,025	933	505	567	421	6,908
地域マネ	477	186	609	346	0	80	1,719	1,895	2,267	900	637	275	9,391
その他	18,205	16,562	14,135	16,504	14,219	15,147	24,398	19,070	14,459	15,747	11,547	5,410	185,403
計	344,97	384,62	453,661	513,689	209,899	228,157	369,233	442,969	404,553	430,438	326,618	122,159	4,230,979

連合法務：香川大学・愛媛大学連合法務研究科 地域マネ：地域マネジメント研究科

注：平成24年3月はコンピュータシステムの更新があったため、ログデータの一部について欠落があり、採取出来たデータのみで集計している。

平成23年度総合情報センターPC利用実績

PCルーム1, 2, 3

		月	火	水	木	金
8:50 I	前				情報処理	
	後			経済統計A		
10:20 II	前					マルチメディア処理
	後		データベース	オペレーションズ・ リサーチ		情報システム論
12:00 III	前		法とコンピュータ入門	情報処理基礎ハ	演習	
	後				調査データ分析	
14:30 IV	前	プロゼミナール	法とコンピュータ入門		個別演習 演習	教養ゼミナール 情報処理基礎ホ
	後		プログラミング		個別演習 地学	
16:10 V	前	情報処理基礎イ 演習	プロゼミ 情報処理基礎ロ 演習	情報処理基礎ニ	演習	
	後	基礎ゼミ	プロゼミ		演習	演習
17:50 VI	前		特別講義	統計学A	GSM統計分析 情報処理基礎	
	後	主題科目	オペレーションズ・ リサーチ			
19:30 VII	前		特別講義	統計学A	GSM統計分析 情報処理基礎	
	後	主題科目	オペレーションズ・ リサーチ			
21:10 備考		集中講義・講習会等 法学部新入生ガイダンス, 法律情報処理, 地域マネジメント研究科ガイダンス, 地域マネジメント研究科プロジェクト演習, 公開講座(情報コミュニケーション)				

(注) この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

平成23年度総合情報センターPC利用実績

教育学部情報処理教室

		月	火	水	木	金
8:50 I	前				情報リテラシー	
	後			マルチメディア・リテラシー(ホ)		
10:20						
10:30 II	前			マルチメディア・リテラシー(ロ)		
	後					
12:00						
13:00 III	前		数値解析			
	後					
14:30						
14:40 IV	前		数値解析		英語演習 I	
	後	計算機基礎	マルチメディア・リテラシー(ニ)		マルチメディア・リテラシー(ハ)	英語音声学 II
16:10						
16:20 V	前	人間環境教育実践研究 入門	マルチメディア・リテラシー(イ) プロゼミ			英語コミュニケーションLR 演習 IE(6)
	後	マルチメディア・リテラシー(ハ)	授業			英語コミュニケーションLR 演習 IIE(6)
17:50						
18:00 VI	前					
	後					
19:30						
19:40 VII	前					
	後					
21:10						
備考		集中講義・講習会等 教員免許更新講習, 学校図書館司書教諭講習, 異文化交流プログラム				

(注) この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

平成23年度総合情報センターPC利用実績

農学部情報処理室1, 2

		月	火	水	木	金
8:50 I	前					
	後					
10:20 II	前					生物資源利用学センター
	後					専門英語
12:00 III	前					
	後					
13:00 IV	前					
	後					
14:30 V	前					
	後					
16:10 VI	前					
	後					
16:20 VII	前					
	後					
17:50 VIII	前					
	後					
18:00 IX	前					
	後					
19:30 X	前					
	後					
21:10 XI	前					
	後					
備考		集中講義・講習会等 応用生命科学実験Ⅱ, 学生実験・応用生命科学コース				

(注) この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

平成23年度総合情報センターPC利用実績

工学部演習室(4301)

		月	火	水	木	金
8:50 I	前			プログラミングⅠ	電磁気学Ⅱ	空間情報工学
	後		環境情報解析学	プログラミングⅡ		
10:20						
10:30 II	前		計算機材料設計	プログラミングⅠ	電磁気学演習Ⅱ	
	後			プログラミングⅡ	暗号とセキュリティ	
12:00						
13:00 III	前		電子情報通信実験Ⅰ	教養ゼミナール		
	後		3次元CAD	プログラミングⅡ	アルゴリズム演習	
14:30						
14:40 IV	前		電子情報通信実験Ⅰ	プログラミングⅡ	プログラミングⅡ	材料創造工学実験Ⅱ
	後		3次元CAD	プログラミングⅡ	アルゴリズム演習	
16:10						
16:20 V	前					材料創造工学実験Ⅱ
	後		3次元CAD			
17:50						
18:00 VI	前					材料創造工学実験Ⅱ
	後					
19:30						
19:40 VII	前					
	後					
21:10						
備考						

(注) この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

平成23年度総合情報センターPC利用実績

医学部マルチメディア実習室

		月	火	水	木	金
8:50 I	前		保健統計論	教養ゼミナール		
	後					
10:20 II	前		保健統計論			
	後					
12:00 III	前		疫学			看護研究基礎論
	後					
14:30 IV	前		情報科学実習	情報科学A		
	後					
16:10 V	前		情報科学実習			
	後					
17:50 VI	前					
	後					
19:30 VII	前					
	後					
備考		集中講義・講習会等 教育用電子カルテ説明(横井), 情報メディアガイダンス, 大学院, 公衆衛生学, 衛生学, 地域看護学, CBT				

(注) この表に記載の事項は、総合情報センターに申し出があったものである。

平成22年度・平成23年度開催の会議および行事

平成22年（2010年）

4月

- 4（日） 入学式ライブ中継
- 9（金） 平成22年度第1回総合情報セン

ンタースタッフ会議

- 16（金） 平成22年度1回総合情報セン
- ター専門委員会
- NEC連絡会議

5月

- 14（金） 平成22年度第2回総合情報セ
- ンタースタッフ会議

- 28（金） 平成22年度第2回総合情報セ
- ンター専門委員会
- NEC連絡会議

6月

- 2（水） IPアドレス事業料金体系見直
- しに関する説明会（JPNIC会
- 議室）

- 4（金） 学術情報ノード担当者会議（学
- 術総合センター）

- 7（月） 工学部交通安全公開セミナー
- （第1回）ライブ中継

- 11（金） 平成22年度第3回総合情報セ
- ンタースタッフ会議

- 16（水） 入退室システム統合（入構ゲート
- システム導入にともない総合情報
- センター導入システムと経済学部
- 導入システムを統合）

- 23（水） 平成22年度総合情報センター会

議（第1回）

- 25（金） 平成22年度第3回総合情報セン
- ター専門委員会

NEC連絡会議

- 26（土） セキュリティ勉強会「CTFから
- 学ぶセキュリティ技術」（主催：四
- 国情報セキュリティ勉強会連絡会、
- 共催：香川大学総合情報センター）

7月

- 1（木） 平成22年度第1回図書館・情報
- 機構会議

- 2（金） ソフトウェアテストシンポジウム
- 2010 四国（JaSST'10 Shikoku）（主
- 催：NPO法人ソフトウェアテスト
- 技術振興協会、共催：香川大学工学
- 部、総合情報センター）

- 9（金） 平成22年度第4回総合情報セン
- タースタッフ会議

- 12（月） 未踏IT人材発掘・育成事業 公
- 募説明会（主催：IPA 独立行政法人
- 情報処理推進機構、共催：香川大学
- 総合情報センター）

- 14（水） 学術室情報グループ執務室移転
- （総合情報センター1階）

- 15（木） 第7回国立大学法人情報系センタ
- ー協議会総会（東京海洋大学）

- 30（金） 平成22年度4回総合情報センタ
- ー専門委員会
- NEC連絡会議

8月

- 6 (金) 外部資金獲得支援アドバイザーによる科学研究費等申請文書作成指南
(講師：中川正樹)

- 10 (火) 夏季一斉休業 (16日まで)

- 18 (水) キャンパス間ネットワーク接続
試験 (20日まで)

- 31 (火) 平成22年度第2回図書館・情報
機構会議

9月

- 4 (土) 教育システム情報学会 第3回研
究会 (主催：教育システム情報学会、
共催：香川大学総合情報センター)

- 9 (木) 第5回情報系センター研究交流・
連絡会議及び第14回学術情報処
理研究集会 (和歌山大学 10日ま
で)

- 10 (金) 平成22年度第5回 総合情報セ
ンタースタッフ会議

- 24 (金) 平成22年度第5回総合情報セン
ター専門委員会
NEC連絡会議

- 29 (水) JGN2plus 四国連絡協議会
セミナーin高松 (主催：JGN2p
lus 四国連絡協議会、共催：香川
大学総合情報センター)

10月

- 8 (金) 平成22年度第6回総合情報セン
タースタッフ会議

- 22 (金) 第5回国立大学法人情報系センタ
ー長会議 (ホテル日航奈良)

- 29 (金) 平成22年度第6回総合情報セン
ター専門委員会

NEC連絡会議

平成22年度大型計算機利用大
阪地区 (第6地区) 協議会総会 (大
阪大学)

11月

- 1 (月) 平成22年度第3回図書館・情報
機構会議 (遠隔会議)

- 5 (金) 総合情報センターコンピュータシ
ステム仕様策定委員会 (第1回)
統合情報伝達システム仕様策定委
員会 (第1回)

- 12 (金) 平成22年度第7回総合情報セン
タースタッフ会議

- 20 (土) 情報処理学会コンピュータと教育
研究会107回研究発表会 (主催：
情報処理学会 コンピュータと教育
研究会運営委員会、共催：香川大学
総合情報センター) (21日まで)

- 26 (金) 平成22年度第7回総合情報セン
ター専門委員会
NEC連絡会議

- 27 (土) ゲーム学会第9回全国大会 (主催：
ゲーム学会、共催：香川大学総合情
報センター) (28日まで)

- 29 (月) 工学部交通安全公開セミナー (第
3回) ライブ中継

12月

- 2 (木) 情報セキュリティセミナー (講師：
(株)STNet 森本哲史様) (3
日まで)

- 3 (金) 平成22年度第8回総合情報セン
タースタッフ会議

- 17 (金) 平成22年度第8回総合情報セン

ター専門委員会	NEC連絡会議
NEC連絡会議	
28 (火) 平成22年度総合情報センター会議 (メール審議) (第2回)	3月
29 (水) 年末年始休業 (1月3日まで)	3 (木) 総合情報コンピュータシステム仕様策定委員会 (第3回)
	統合情報伝達システム仕様策定委員会 (第3回)
平成23年 (2011年)	
1月	9 (水) 情報セキュリティ監査 (総合情報センター基盤システム)
13 (木) 平成22年度第4回図書館・情報機構会議 (メール審議)	13 (日) SINET4へ接続変更
14 (金) 平成22年度第9回総合情報センタースタッフ会議	15 (火) 平成22年度第11回総合情報センタースタッフ会議
18 (火) 会計検査院実地検査 (21日まで)	18 (金) 平成22年度第11回総合情報センター専門委員会
20 (木) 電子情報通信学会 通信ソサイエティ ネットワークシステム研究会 (NS研) (主催:電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ ソフトウェア研究会、共催:香川大学工学部、総合情報センター) (21日まで)	NEC連絡会議
21 (金) 平成22年度第9回総合情報センター専門委員会	24 (木) 卒業式ライブ中継
NEC連絡会議	
2月	4月
3 (木) 総合情報コンピュータシステム導入説明会	1 (金) 平成23年度第1回総合情報センタースタッフ会議
4 (金) 平成22年度第10回総合情報センタースタッフ会議	4 (月) 入学式ライブ中継
15 (火) 総合情報コンピュータシステム仕様策定委員会 (第2回)	15 (金) 平成23年度第1回総合情報センター専門委員会
統合情報伝達システム仕様策定委員会 (第2回)	NEC連絡会議
24 (金) 平成22年度第10回総合情報センター専門委員会	20 (水) 総合情報センターコンピュータシステム仕様策定委員会 (第4回)
	22 (金) 総合情報センターネットワークシステム仕様策定委員会 (第4回)
	28 (木) 総合情報センターコンピュータシステム仕様書案説明会
	5月
	13 (金) 平成23年度第2回総合情報センタースタッフ会議
	17 (火) 総合情報センターコンピュータシ

- システム仕様策定委員会（第5回）
- 20（金） 総合情報センターネットワークシステム仕様策定委員会（第5回）
- 26（木） 電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ 知能ソフトウェア工学研究会(KBSE 研)（主催：電子情報通信学会 知能ソフトウェア工学研究会、共催：香川大学工学部・総合情報センター）（27日まで）
- 27（金） 平成23年度第2回総合情報センター専門委員会
NEC連絡会議
平成23年度第1回総合情報センター会議（メール審議）

6月

- 6（月） 工学部交通安全公開セミナー（第1回）ライブ中継
- 10（金） 総合情報センターネットワークシステム仕様策定委員会（第6回）
平成23年度第3回総合情報センタースタッフ会議
- 13（月） 総合情報コンピュータシステム仕様策定委員会（第6回）
平成23年度第1回図書館・情報機構会議
- 22（水） 総合情報センターコンピュータシステム入札説明会
- 23（木） NUA 学術情報システム研究会平成23年度第21回総会・第36回研究会（明治大学）（24日まで）
- 24（金） 平成23年度第3回総合情報センター専門委員会
NEC連絡会議
- 30（木） 総合情報センターネットワークシ

ステム仕様策定委員会（第7回）

7月

- 8（金） 平成23年度第4回総合情報センタースタッフ会議
- 15（金） 総合情報センターネットワークシステム導入説明会
- 19（火） ソフトウェアテストシンポジウム2011 四国(JaSST'11 Shikoku)（主催：NPO 法人ソフトウェアテスト技術振興協会、共催：香川大学工学部・総合情報センター）
- 22（金） 平成23年度第4回総合情報センター専門委員会
NEC連絡会議

8月

- 12（金） 夏季一斉休業（18日まで）
- 29（月） 総合情報センターネットワークシステム仕様策定委員会（第8回）

9月

- 9（金） 平成23年度第5回総合情報センタースタッフ会議
- 15（木） 第6回情報系センター研究交流・連絡会議及び第15回学術情報処理研究集会（三重大学）（16日まで）
PCルーム1 出入りロスロープ設置工事完成
- 22（木） 平成23年度第5回総合情報センター専門委員会
NEC連絡会議
- 27（火） 総合情報センターネットワークシステム仕様策定委員会（第9回）

10月

- 6 (木) 次期コンピュータシステム導入打ち合わせ (第1回)
- 7 (金) 平成23年度第6回総合情報センタースタッフ会議
- 14 (木) 平成23年度第6回総合情報センター専門委員会
NEC連絡会議
- 18 (火) 総合情報センターネットワークシステム仕様策定委員会 (第10回)
- 21 (金) 第6回国立大学法人情報系センター長会議 (幹事校: 宮崎大学)
- 25 (木) 総合情報センターネットワークシステム仕様書案説明会
次期コンピュータシステム導入打ち合わせ (第2回)

11月

- 11 (金) 平成23年度第7回総合情報センタースタッフ会議
- 18 (木) 平成23年度第7回総合情報センター専門委員会
NEC連絡会議
平成23年度大型計算機利用大阪地区 (第6地区) 協議会総会 (大阪大学)
- 24 (木) 次期コンピュータシステム導入打ち合わせ (第3回)
- 28 (月) 工学部交通安全公開セミナー (第3回) ライブ中継
- 29 (火) 総合情報センターネットワークシステム仕様策定委員会 (第11回)

12月

- 9 (金) 平成23年度第8回総合情報センタースタッフ会議

- 15 (木) 防災訓練
次期コンピュータシステム導入打ち合わせ (第4回)
- 16 (金) 総合情報センターネットワークシステム仕様策定委員会 (第12回)
平成23年度第8回総合情報センター専門委員会
NEC連絡会議
- 29 (木) 年末年始休業 (1月3日まで)

平成24年 (2012年)

1月

- 10 (火) 次期コンピュータシステム導入打ち合わせ (第5回)
- 13 (金) 平成23年度第9回総合情報センタースタッフ会議
- 17 (火) 総合情報センターネットワークシステム仕様策定委員会 (第13回)
- 20 (金) 平成23年度第9回総合情報センター専門委員会
NEC連絡会議
総合情報センターネットワークシステム仕様策定委員会 (第14回)

2月

- 3 (金) 次期コンピュータシステム導入打ち合わせ (第6回)
- 7 (火) 総合情報センターネットワークシステム入札説明会
- 10 (金) 平成23年度第10回総合情報センタースタッフ会議
- 14 (火) PCルーム3床改修工事完成
- 17 (金) 平成23年度第10回総合情報セ

ンター専門委員会
NEC連絡会議

ンタースタッフ会議

16 (金) 平成23年度第11回総合情報セ

ンター専門委員会

3月

富士通連絡会議

1 (木) コンピュータシステム機種更新

24 (土) 卒業式ライブ中継

9 (金) 平成23年度第11回総合情報セ

センター関係会議委員・スタッフ一覧

(平成25年5月1日現在)

○総合情報センター会議

本 田 道 夫	総合情報センター長 (併)
今 井 慈 郎	教 授 (総合情報センター)
林 敏 浩	教 授 (総合情報センター)
堀 幸 雄	助 教 (総合情報センター)
黒 田 勉	准教授 (教育学部)
井 上 正 也	准教授 (法学部)
長 山 貴 之	准教授 (経済学部)
大 西 平	准教授 (医学部)
最 所 圭 三	教 授 (工学部)
櫻 庭 春 彦	教 授 (農学部)
関 庚 炫	准教授 (大学院地域マネジメント研究科)
溝 淵 彰	准教授 (大学院香川大学・愛媛大学連合法務研究科)
鎌 野 寛	教 授 (保健管理センター)
横 井 英 人	教 授 (医学部附属病院)
枝 川 幸 司	学術部長

○総合情報センター専門委員会

本 田 道 夫	総合情報センター長 (併)
今 井 慈 郎	教 授 (総合情報センター)
林 敏 浩	教 授 (総合情報センター)
堀 幸 雄	助 教 (総合情報センター)
八重樫 理 人	准教授 (総合情報センター) (併)
黒 田 勉	准教授 (教育学部)
青 木 高 明	准教授 (教育学部)
井 上 正 也	准教授 (法学部)
長 山 貴 之	准教授 (経済学部)
久 富 信 之	准教授 (医学部)
最 所 圭 三	教 授 (工学部)
安 藤 一 秋	准教授 (工学部)
田 中 直 孝	准教授 (農学部)
最 上 英 明	教 授 (大学教育開発センター)

福 家 隆 リーダー (学術室情報グループ)

○総合情報センタースタッフ

本 田 道 夫	センター長 (併)
今 井 慈 郎	教 授
林 敏 浩	教 授
八重樫 理 人	准教授 (併)
堀 幸 雄	助 教
高 橋 岳 水	技術専門職員 (併)
土 居 敬 典	技術職員 (併)
菱 田 かおり	パートタイム職員 (技術)
元 木 雅 博	パートタイム職員 (事務)
植 田 めぐみ	パートタイム職員 (事務)
岩 城 暁 大	パートタイム職員 (技術)
裏 和 宏	パートタイム職員 (技術)
福 家 隆	情報グループリーダー
近 藤 まゆみ	情報グループサブリーダー
瀬 野 芳 孝	情報グループチーフ
曾 根 計 俊	情報グループチーフ
六 車 建	情報グループチーフ
武 田 亮	情報グループチーフ
川 口 政 秀	情報グループチーフ
横 山 美 保	情報グループチーフ
前 田 由 佳	情報グループグループ員
渡 部 周 平	情報グループグループ員
太 田 芽 衣	パートタイム職員 (事務)

資料

香川大学総合情報センター規程

(趣旨)

第1条 この規程は、国立大学法人香川大学組織規則第18条第2項の規定に基づき、香川大学総合情報センター（以下「センター」という。）に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、香川大学（以下「本学」という。）における情報化推進並びに情報基盤システムを含む情報システム（以下「情報システム」という。）の整備、管理・運営、支援を行い、教育研究及び大学の運営に資するとともに、情報システム及び情報通信技術の応用に関する教育と研究を行い、その発展に寄与することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 情報化の方針策定に関すること
- (2) 情報システム及び情報通信技術の調査・研究・利用支援に関すること
- (3) 情報システム及び情報通信技術並びに情報セキュリティ等の教育及び啓発に関すること
- (4) 情報通信技術を活用した教育および教材開発に関すること。
- (5) 全学に係る情報システムの構築及び管理運用に関すること。
- (6) 国立情報学研究所等の学外情報ネットワークとの連携に関すること。
- (7) 情報システムの点検・評価に関すること
- (8) 総合情報センターの事務に関すること
- (9) その他情報化推進に関すること。

(組織)

第4条 センターは、前条の業務を遂行するために、次の各号に掲げる部門を置く。

- (1) 情報化推進部門
 - (2) システムサービス部門
- (分室)

第5条 センターは、三木町医学部キャンパス、林町キャンパス及び三木町農学部キャンパスに、それぞれ分室を置く。

2 分室に関し必要な事項は、別に定める。

(構成員)

第6条 センターは、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) センター長
- (2) センター担当教員
- (3) その他必要な者

2 センターの各部門に部門長を置くことができる。

(センター長)

第7条 センター長の任命は、学長が指名する理事又は副学長の推薦に基づき、本学専任教員の中から、学長が行う。

2 センター長は、センターの業務を統括する。

3 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の末日は、当該センター長を任命する学長の任期の末日以前でなければならない。

4 前項の規定にかかわらず、センター長が辞任をした場合又は欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター長の選考時期)

第8条 センター長の選考は、次の各号の1に該当する場合に行う。

- (1) 任期が満了するとき。
- (2) 辞任を申し出たとき。
- (3) 欠員となったとき。

2 センター長の選考は、前項第 1 号の場合には、任期満了の 1 月以前に、同項第 2 号又は第 3 号の場合には、速やかに行うものとする。
(部門長)

第 9 条 第 6 条第 2 項に基づき各部門に部門長を置くときは、センター長の推薦に基づき、学長が指名する理事又は副学長が任命する。

2 部門長は、部門の業務を統括する。

3 部門長の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、部門長が辞任をした場合又は欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター担当教員)

第 10 条 センター担当教員は、本学専任教員のうちから学長が任命する。

(客員教授)

第 11 条 センターに客員教授及び客員准教授(以下「客員教授等」という。)を置くことができる。

2 客員教授等の称号付与は、センター長の申出に基づき、学長が行う。

3 前項の申出は、センターが選考した候補者を推薦することにより行う。

4 客員教授等は、第 6 条第 1 項第 2 号及び第 3 号に掲げる構成員を兼務することができる。

(事務)

第 12 条 センターの事務は、センターが関係する学部事務課の協力を得て、総合情報センター及び学術室情報グループにおいて処理する。

(雑則)

第 13 条 この規程に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規程の施行より、香川大学総合情報基盤センター規則(平成 16 年 4 月 1 日制定)は、廃止する。

3 この規程の施行の際、現にセンター長である者の任期は、第 7 条第 3 項及び第 4 項の規定にかかわらず、平成 19 年 9 月 30 日までとする。

附 則(平成 20 年 3 月 1 日)

この規程は、平成 20 年 3 月 1 日から施行する。

附 則(平成 20 年 4 月 1 日)

この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 21 年 6 月 22 日)

この規程は、平成 21 年 6 月 22 日から施行し、平成 21 年 4 月 1 日から適用する。

附 則(平成 22 年 4 月 1 日)

この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 25 年 4 月 1 日)

1 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規程の施行の際、現にセンター長である者の任期は、第 7 条第 3 項及び第 4 項の規定にかかわらず、平成 25 年 9 月 30 日までとする。

3 この規程の施行の際、現に部門長である者の任期は、第 9 条第 3 項の規定にかかわらず、平成 25 年 9 月 30 日までとする。

香川大学総合情報センター会議規程

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学組織運営規則第12条の2第2項の規定に基づき、香川大学総合情報センター会議（以下「センター会議」という。）に関し必要な事項を定める。

(任務)

第2条 センター会議は、総合情報センター（以下「センター」という。）の円滑な運営を図るため、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) センターの業務に関する事項
- (2) センター長が必要とする事項

(組織)

第3条 センター会議は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
- (2) 香川大学総合情報センター規程第9条の規定による部門長
- (3) センター担当教員
- (4) 各学部から選出された教員各1人
- (5) 地域マネジメント研究科及び香川大学・愛媛大学連合法務研究科から選出された教員各1人
- (6) 保健管理センターから選出された教員1人
- (7) 医学部附属病院から選出された教員1人
- (8) 学術部長

2 前項第4号から第7号までの委員は、学長が任命する。

3 第1項第4号から第7号までの委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

4 第1項第4号から第7号までの委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(議長)

第4条 センター会議に議長を置き、センター長をもって充てる。

2 議長は、センター会議を招集し、主宰する。

3 議長に事故があるときは、あらかじめ議長が指名した委員が、その職務を代行する。

(議事)

第5条 センター会議は、委員の過半数の出席がなければ議事を開くことができない。

2 議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 センター会議は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求め説明又は意見を聴取することができる。

(専門委員会)

第7条 センター会議にセンターの業務に関する専門の事項を調査検討するため、専門委員会を置く。

2 専門委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第8条 センター会議の事務は、学術室情報グループにおいて処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、センター会議に関し必要な事項は、センター会議が別に定める。

附 則

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

2 この規程の施行により、香川大学総合情報基盤センター運営委員会規則（平成16年4月1日制定）及び香川大学情報評価分析セン

ター規則（平成16年4月1日制定）は、廃止する。

3 この規程の施行の際、現に委員である者の任期は、第3条第3項及び第4項の規定にか

かわらず、平成20年3月31日までとする。

附 則（平成20年4月1日）

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

香川大学総合情報センター利用規程

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学総合情報センター規程第13条の規定に基づき、香川大学総合情報センター（以下「センター」という。）及びセンターが管理する教育研究支援システム（以下「センターシステム」という。）の利用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(利用者)

第2条 センター及びセンターシステムを利用することのできる者は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 香川大学（以下「本学」という。）の常勤及び非常勤の職員のうち職員番号が付与されている者
- (2) 本学の学生（研究生等を含む。以下同じ。）
- (3) その他総合情報センター長（以下「センター長」という。）が適当と認める者

(利用の申込)

第3条 前条第3号の利用者は、所定の事項を記入したセンター利用登録申請書（様式第1号）をセンター長に提出し、その承認を受けなければならない。

- 2 センター長は、前条第1号及び第2号の利用者並びに前項の承認をした利用者、センターシステム利用者ID（以下「利用者ID」という。）を交付するものとする。
- 3 利用者IDの有効期限は、在籍期間とする。ただし、前条第3号の利用者IDの有効期限は1年以内とし、当該年度を超えることができない。

(変更の承認)

第4条 センターシステムの利用を承認された者（以下「利用者」という。）は、利用登録

の内容について変更が生じた場合には、速やかにセンター長に届け出なければならない。

(利用時間)

第5条 センターの開館日は、以下に掲げる日を除く平日とする。ただし、センター長が開館を必要と認めた場合については、この限りではない。

- (1) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (2) 12月29日から翌年の1月3日まで
- (3) その他センター長が開館を必要と認めた日

2 センター施設の利用時間は、センター長が別に定める。

3 前項の規定にかかわらず、センターシステム等に障害が発生した場合又は保守作業を行う場合は、利用を中止し、又は停止することがある。

(不正使用の禁止)

第6条 利用者は、自己の利用者IDを他の者に使用させてはならない。他の者に使用させて生じた事故の責めは、本人が負わなければならない。

(利用の報告)

第7条 センター長は、必要に応じて利用者に対して、利用状況の経過等について報告を求めることができる。

(損害賠償)

第8条 利用者は、故意又は重大な過失により、その使用に係る物品を損傷したときは、その損害を弁償する責めを負わなければならない。

(利用の取り消し等)

第9条 利用者がこの規程に違反し、又はセンターの運営に重大な支障を生じせしめたときは、センター長はその利用の承認を取り消し、又はその利用を一定期間停止させることがで

きる。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、センター及びセンターシステムの利用に関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

1 この規程は、平成20年4月1日から施行

する。

2 この規程の施行より、香川大学総合情報基盤センター利用規程（平成16年4月1日制定）は、廃止する。

附 則

この規程は、平成25年6月1日から施行する。

(様式第1号)

香川大学総合情報センター利用登録申請書

平成 年 月 日

香川大学総合情報センター長 殿

申請区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 取消	利用目的	<input type="checkbox"/> 研究 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> 事務 <input type="checkbox"/> その他 ()		
申請者	所属			職名	
	フリガナ			連絡先	電話: - (内線)
	氏名	印			Email:
登録者	<input type="checkbox"/> 一括登録	登録者データ	別添のとおり		
	<input type="checkbox"/> 個別登録	所属		職名	
		フリガナ		登録希望	
		氏名		ID	
連絡先	電話: - (内線)	Email:			
利用期間	平成 年 月 日 から 平成 年 月 日 まで				
備考					

(以下は記入しないでください。)

受付年月日	平成 年 月 日	整理番号	第 号
利用者ID		パスワード	
有効期限	平成 年 月 日		

上記の申請を承認します。

平成 年 月 日

香川大学総合情報センター長

(注) 一括登録用の登録者データは、必要項目がそろっていれば、電子ファイルでも受け付けます。

ご提供いただく個人情報につきましては、総合情報センター機器の利用登録に利用することを目的としてご提供いただき、この目的の範囲内での利用に限定いたします。
個人情報をご提供いただく際に明示した目的の範囲を越えて個人情報を利用する必要がある場合には、事前にその目的をご連絡いたします。

別紙登録者データ

	所 属	職 名	氏 名	フリガナ	登録希望ID	連絡先（電子メール）等

香川大学キャンパス情報ネットワーク運営規則

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人香川大学（以下「大学法人」という。）キャンパス情報ネットワーク（以下「学内ネットワーク」という。）の管理運営について、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則における用語の意義は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 「部局」とは、教育学部（附属教育研究施設及び附属学校を含む。）、法学部、経済学部、医学部、工学部、農学部（附属教育研究施設を含む。）、香川大学・愛媛大学連合法務研究科、地域マネジメント研究科、図書館、博物館、医学部附属病院、総合情報センター（以下「センター」という。）及び法人本部をいう。この場合において、センター以外の学内共同教育研究施設等（以下「施設等」という。）については、施設等の設置場所が幸町キャンパスにあつては法人本部、三木町医学部キャンパスにあつては医学部、林町キャンパスにあつては工学部、三木町農学部キャンパスにあつては農学部の部局に含める。
- (2) 「部局長」とは、前号に規定する部局長をいう。
- (3) 「ネットワーク」とは、コンピュータ、端末装置等を相互に接続するための通信ケーブル及び接続用機器をいう。
- (4) 「学内ネットワーク」とは、基幹ネットワークと支線ネットワークで構成されたものをいう。
- (5) 「基幹ネットワーク」とは、キャン

パス間並びにキャンパス内における部局間及び建物間を結ぶネットワークをいう。

- (6) 「支線ネットワーク」とは、基幹ネットワークの接続機器に接続される建物内のネットワークをいう。

(区分)

第3条 学内ネットワークは機能上、教育研究用ネットワーク、診療用ネットワーク及び事務用ネットワークに区分するものとする。

(管理責任等)

第4条 学内ネットワークを管理運営するため、総括責任者を置き、総合情報センター長（以下「センター長」という。）をもって充てる。

2 基幹ネットワークは、センターにおいて管理運用し、その管理者はセンター長をもって充てる。

3 支線ネットワークのうち、教育研究用ネットワークは、該当部局において管理運用し、その管理者は当該部局長（以下「部局管理者」という。）をもって充てる。

4 支線ネットワークのうち、診療用ネットワークは、医学部附属病院において管理運用し、部局管理者は医学部附属病院長をもって充てる。

5 支線ネットワークのうち、事務用ネットワークは、学術室において管理運用し、その管理者は学術部長をもって充てる。

6 複数部局により一体として運用する支線ネットワークにおいては、関係部局の協議により、当該支線ネットワーク共通の担当者置くことができる。

(利用者の資格)

第5条 学内ネットワークに接続することができる者は、次の各号の1に掲げる者とする。

- (1) 大学法人職員
 - (2) 部局管理者が許可した者
 - (3) その他センター長が適当と認めた者
- (利用の範囲)

第6条 学内ネットワークは、教育研究用、診療用及び事務用以外の目的で利用してはならない。

(雑則)

第7条 この規則に定めるもののほか、学内ネットワークの運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行す

る。

附 則 (平成17年6月23日)

この規則は、平成17年6月23日から施行し、平成17年6月1日から適用する。

附 則 (平成20年4月1日)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年6月22日)

この規程は、平成21年6月22日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

附 則 (平成25年4月1日)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

香川大学キャンパス情報ネットワーク運営細則

(趣旨)

第1条 この細則は、香川大学キャンパス情報ネットワーク運営規則第7条の規定に基づき、学内ネットワークの運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(学内ネットワークの管理運用)

第2条 総合情報センター（以下「センター」という。）は、香川大学総合情報センター会議（以下「センター会議」という。）の策定する運営方針に従い、学内ネットワークの管理運用に関し、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 基幹ネットワークの良好な動作状態の維持
- (2) 基幹ネットワークと支線ネットワークの接続に関する技術的指導及び支援
- (3) 学内ネットワークに接続する機器のドメイン名及びIPアドレス空間の管理
- (4) 学外ネットワークとの接続に関する業務
- (5) ネットワーク機器及びその接続形態に関しての各部局に対する技術的支援
- (6) その他センター会議から付託された業務

2 センターは、前項第3号に掲げる機器のドメイン名及びIPアドレスを割り当てる場合、当該部局と協議するものとする。

3 基幹ネットワークを構成する機器は、センター長の許可なく改修等を行ってはならない。

4 教育研究用ネットワークにおける支線ネットワーク上のコンピュータ等を他部局の管理する支線ネットワークに接続する場合は、当該部局間で協議するものとする。

(教育研究用ネットワークの管理運用)

第3条 支線ネットワークのうち、教育研究用

ネットワークの管理運用は、センター会議の策定する運営方針に従い、当該部局において次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 教育研究用ネットワーク利用諸手続
- (2) 教育研究用ネットワークの良好な動作状態の維持及び管理
- (3) その他教育研究用ネットワークの管理運用に関し必要な事項

2 教育研究用ネットワークの管理運用業務を補佐するため、部局担当者（技術・事務）を置き、部局管理者が指名するものとする。

3 この細則に定めるもののほか、教育研究用ネットワークの取扱いについては、別に定める。

(診療用ネットワークの管理運用)

第4条 支線ネットワークのうち、診療用ネットワークの管理運用は、センター会議の策定する運営方針に従い、医学部附属病院において次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 診療用ネットワーク利用諸手続
- (2) 診療用ネットワークの良好な動作状態の維持及び管理
- (3) その他診療用ネットワークの管理運用に関し必要な事項

2 診療用ネットワークの管理運用業務を補佐するため、部局担当者（技術・事務）を置き、部局管理者（医学部附属病院長）が指名するものとする。

3 この細則に定めるもののほか、診療用ネットワークの取扱いについては、別に定める。

(事務用ネットワークの管理運用)

第5条 支線ネットワークのうち、事務用ネットワークの管理運用は、センター会議の策定する運営方針に従い、学術室において次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 事務用ネットワーク利用諸手続
- (2) 事務用ネットワークの良好な動作状態の維持及び管理
- (3) その他事務用ネットワークの管理運用に関し必要な事項

2 この細則に定めるもののほか、事務用ネットワークの取扱いについては、別に定める。

(基幹ネットワークへの接続)

第6条 基幹ネットワークに支線ネットワークを接続しようとする者は、当該部局管理者に申し出るものとする。

2 部局管理者は、前項の申し出を受け、これを必要と認める場合は、センター長に申請し、相互接続の承認を得て必要な事項の割当を受けるものとする。

3 接続に係わる経費については、支線ネットワーク接続者が負担するものとする。

(教育研究用ネットワークへの接続)

第7条 支線ネットワークのうち、教育研究用ネットワークに機器を接続しようとする者(以下「申請者」という。)は、当該部局管理者に所定の申請書を提出するものとする。

2 所属部局と異なる部局の支線ネットワークに機器を接続しようとするときは、所属部局管理者を経て、接続しようとする支線ネットワークの部局管理者に所定の申請書を提出するものとする。

3 部局管理者は、第1項及び前項に基づく申請が適当であると認めたときは、アドレス番号を付して許可するものとする。

4 部局管理者は、前項の許可をしたときは、センター長に速やかに報告するものとする。

5 教育研究用ネットワークに機器を接続した者が、その利用を取り止める場合は、所属部局の部局管理者又は接続しているネットワークの部局管理者に届け出るものとする。

6 部局管理者は、前項の届け出があったときは、センター長に速やかに報告するものとする。

る。

7 接続及び廃止に係わる経費については、申請者が負担するものとする。

(学内ネットワークの変更)

第8条 基幹ネットワークの変更、支線ネットワークと基幹ネットワーク接続機器との接続形態の重要な変更及び新しいプロトコルの使用は、センター会議で審議する。

2 部局において教育研究用ネットワーク、診療用ネットワーク又は事務用ネットワークを変更しようとするときは、あらかじめセンター長と協議しなければならない。

(支線ネットワーク内の変更)

第9条 支線ネットワーク内部において、基幹ネットワークの運用に影響を及ぼすような変更を行おうとする者は、事前に部局管理者に申し出るものとする。

2 部局管理者は、前項の申し出を受けた場合、センター長と連絡協議の上、必要と認めたときは、これを承認する。

(学内ネットワークの運用を担当する者の遵守事項)

第10条 センター長、センター職員、部局管理者及び部局担当者は、学内ネットワークを利用する通信の秘密を侵してはならない。

(ネットワーク利用者の責任)

第11条 ネットワーク利用者(以下「利用者」という。)は、部局管理者に許可されたIPアドレス以外のアドレスを用いたネットワーク機器を接続してはならない。

2 利用者は、学内ネットワークの円滑な運営を妨げないように、良識をもって利用しなければならない。

3 利用者の故意又は重大な過失により、ネットワークに障害が生じた場合は、責任を負わなければならない。

(接続許可の取消し及び利用の制限)

第12条 センター長又は部局管理者は、利用

者がこの細則その他関連する規則等に違反したと判断したときは、そのコンピュータ等の接続許可の取消し又は利用を制限することができる。

2 センター長、部局管理者及び部局担当者は、協議の上、必要に応じて利用者の利用状況を調査することができる。

(維持に関する経費)

第13条 基幹ネットワークの維持に要する経費については、センター会議の定めるところによる。

2 支線ネットワークの維持に要する経費は、原則として当該部局で負担するものとする。

(損害の補償)

第14条 利用者が学内ネットワークの利用に

より被った損害は、その原因にかかわらず補償されない。

(雑則)

第15条 この細則に定めるもののほか、学内ネットワークの運営に関し必要な事項は、センター会議が定める。

附 則

この細則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年6月1日)

この細則は、平成17年6月1日から施行する。

附 則 (平成20年4月1日)

この細則は、平成20年4月1日から施行する。

香川大学総合情報センター専門委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、香川大学総合情報センター会議規程第7条第2項の規定に基づき、香川大学総合情報センター専門委員会（以下「専門委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 専門委員会は、香川大学総合情報センター（以下「センター」という。）に関し、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) センターの電子計算機システムの運用に関すること。
- (2) キャンパス情報ネットワークの運用に関すること。
- (3) その他センターが行うサービス業務に関すること。

(組織)

第3条 専門委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) センター長
 - (2) センター担当教員
 - (3) 各学部から選出された教員各1人
 - (4) 大学教育開発センターから選出された教員1人
 - (5) 学術室情報グループから選出された者1人
 - (6) その他センター長が必要と認めた者
- 2 前項第3号、第4号の委員は、それぞれの部局等の長の推薦に基づき、学長が任命する。
- 3 第1項第5号の委員は、所属グループリーダーの推薦に基づき、学長が任命する。
- 4 第1項第3号から第5号までの委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委

員に欠員が生じたときの補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 専門委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

(委員以外の者の出席)

第5条 専門委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて説明又は意見を聴くことができる。

(事務)

第6条 専門委員会の事務は、学術室情報グループにおいて処理する。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、専門委員会に関し必要な事項は、専門委員会が別に定める。

附 則

1 この規程は、平成19年7月3日から施行する。

2 この規程の施行により、香川大学情報基盤運営専門委員会規程（平成17年3月1日制定）は廃止する。

3 この規程の施行後、最初に任命される第3条第1項第3号から第5号の者の任期は、同条第4項の規定にかかわらず、平成21年3月31日までとする。

附 則（平成20年4月1日）

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

編集後記

平成22年度は総合情報センターにとっても大きな動きがあり、客員教授に迎えた中川先生に、情報グループリーダーをお願いし、幸町2-1の旧「情報処理センター」所在地に、装いも新しく「総合情報センター事務室」を改装いたしました。また、以前からの懸案であった「総合情報センターと情報グループとの統合」が実現され、両組織が名実とも一体化運営される状況になって参りました。一方、「総合情報センター学生オープンスペース」が新設され、学生さんの利用もますます順調な滑り出しとなっています。

この間、教員組織の改組なども進み、平成22年度中途には八重樫助教（総合情報センター）を工学部専任講師として転出しつつ、同センター長から工学部信頼性情報システム工学専攻科長へのたつての依頼も功を奏し、八重樫先生を同センターの併任教員として活躍いただくことが可能となりました。平成23年度スタート時期には、これまで図書館・情報機構（総合情報センター）と名乗っていた所属も、工学研究所属となり、平成25年度からは学系制へと移行し、衣替えも進んでおります。

平成23年度は「総合情報センターコンピュータシステム」の仕様決定と導入（リプレイス）という大きな事案がありました。また、並行して「図書館情報システム」の導入（リプレイス）も図られました。一方、「総合情報センターネットワークシステム」の仕様決定と次年度導入へ向けた準備を行い、平成24年10月から新しいネットワークのもと業務を行っております。

最後にお詫びと御礼を申し上げ、編集後記を締めくくりたいと思います。

多くの玉稿につきましては、お忙しいところ快くご執筆をお引き受けいただきながら、発刊の遅れにより掲載が遅れてしまったことを深くお詫び申し上げます。

柴田昭二先生におかれましては、情報担当副学長在任当時は本センターのために多大のご尽力いただきました。

中村邦彦先生におかれましては、平成24年3月に定年をおむかえになられました。中村先生は本センターの前身である香川大学計算センター時代から本センターの発展にご尽力いただきました。また、河内一芳様におかれましては、平成24年3月に定年を迎えられましたが引き続きお仕事を続けられ平成25年3月に退職されました。香川医科大学当時から総合情報センターに至るまで、情報環境の発展充実にご尽力いただきました。ここに厚く御礼申し上げます。お二人の今後のご活躍を祈念いたします。

今井・瀬野

年報 第8・9号

平成25年7月発行

編集・発行 香川大学総合情報センター

〒760-8523 高松市幸町2番1号

TEL 087-832-1292

FAX 087-832-1293